

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

14.11.02

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日
Date of Application:

2002年 8月21日

REC'D 17 JAN 2003

出 願 番 号
Application Number:

特願2002-240611

[ST.10/C]:

[JP2002-240611]

出 願 人
Applicant(s):

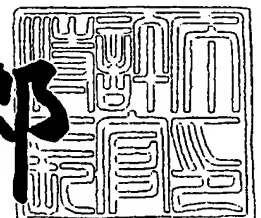
株式会社ネットワークス・プラス

**PRIORITY
DOCUMENT**
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17.1 (a) OR (b)

2002年12月24日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



BEST AVAILABLE COPY

出証番号 出証特2002-310174

【書類名】 特許願

【提出日】 平成14年 8月21日

【整理番号】 N-16-2

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 12/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区芝3丁目13-4 コーポ芝公園 503

 【氏名】 藤枝 勲

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県茅ヶ崎市香川1326

 【氏名】 野島 哲也

【特許出願人】

 【識別番号】 501195485

 【氏名又は名称】 株式会社ネットワークス・プラス

 【代表者】 小倉 道生

【代理人】

 【識別番号】 100076141

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 市之瀬 宮夫

 【電話番号】 03-3263-9524

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 062156

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 0208465

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コミュニケーションカードシステム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 所定の文字、図形、記号などの標章とが印刷されたシートの一部にコミュニケーション用隠蔽画像が描画された光学媒体を設けた第1のコミュニケーションカードと、

情報入力画像データが送出可能となっており、かつ、送出後の情報入力画像データに書き込まれた収集情報を受信したときに、前記光学媒体内の隠蔽画像を顕在化させる色調を発色させる映像出力データを送信するとともに、前記取り込んだ収集情報を所定の手法で分類することができる第1の情報処理システムと、

各種情報を入力するための情報入力手段、情報入力画像データやその他の表示データを表示する表示手段及び各種制御や情報を処理する処理手段を有するユーザー端末装置とを備え、

当該第1のコミュニケーションカードを顧客に配布し、

前記第1のコミュニケーションカードまたは他の媒体で提示されたURLが入力された前記ユーザー端末装置は、前記第1の情報処理システムにアクセスし、所定の情報入力画面データを前記第1の情報処理システムから当該ユーザー端末装置に取込んで前記表示手段に表示させ、前記入力手段を介して当該情報入力画面に所定の情報が入力されたときに当該情報を前記第1の情報処理システムに送出し、

かつ、前記ユーザー端末装置は前記第1の情報発信処理装置から送られてくる映像出力データに基づいた色調を表示手段上に発色させることにより、前記第1のコミュニケーションカードの光学媒体内の隠蔽画像を目視にて認識可能な状態にして、顧客に第1のコミュニケーションカード介して所定の情報を提供できることを特徴とするコミュニケーションカードシステム。

【請求項2】 所定の文字、図形、記号などの標章とが印刷されたシートの一部にコミュニケーション用隠蔽画像が描画された光学媒体を設けた第1のコミュニケーションカードと、

情報入力画像データが送出可能となっており、かつ、送出後の情報入力画像デ

一タに書き込まれた収集情報を受信したときに、前記光学媒体内の隠蔽画像を顕在化させる色調を発色させる映像出力データを送信するとともに、前記取り込んだ収集情報を所定の手法で分類することができる第1の情報処理システムとを備え、

当該第1のコミュニケーションカードを顧客に配布し、

第1の情報処理システムは、所定の情報入力画面データを送出し、かつ、収集情報を受信したときには、所定の色調を発色させる映像出力データを送出し、前記第1のコミュニケーションカードの隠蔽画面と発色とで顧客とコミュニケーションを行うことができるようにしたことを特徴とするコミュニケーションカードシステム。

【請求項3】 所定の文字、図形、記号などの標章とが印刷されたシートの一部に隠蔽画像を目視にて認識可能にする透過光学特性を有する光学媒体を設けた第2のコミュニケーションカードと、

情報入力画像データが送出可能となっており、かつ、送出後の情報入力画像データに書き込まれた収集情報を受信したときに、表示用の主映像データ中に顧客に提示する隠蔽映像データを合成し、前記主映像データの画像のみを目視可能状態でかつ前記隠蔽映像データを目視不能状態で表示させる映像出力データを送信できるとともに、前記取り込んだ収集情報を所定の手法で分類することができる第2の情報発信処理手段と、

各種情報を入力するための情報入力手段、情報入力画像データやその他の表示データを表示する表示手段及び各種制御や情報処理する処理手段を有するユーザー端末装置とを備え、

当該第2のコミュニケーションカードを顧客に配布し、

前記第2のコミュニケーションカードまたは他の媒体で提示されたURLが入力された前記ユーザー端末装置は、前記第2の情報処理システムをアクセスし、所定の情報入力画面データを前記第2の情報処理システムから当該ユーザー端末装置に取込んで前記表示手段に表示させ、前記入力手段を介して当該情報入力画面に所定の収集情報が入力されたときに当該収集情報を前記第2の情報処理システムに送出し、

かつ、前記ユーザー端末装置は前記第2の情報発信処理装置から送られてくる映像出力データを受信して主映像データを前記表示手段に表示すると同時に隠蔽映像データを目視不能状態で前記表示手段に表示して、前記表示手段上に表示されている隠蔽画像を前記第2のコミュニケーションカードで目視にて認識可能な状態にし、顧客に第2のコミュニケーションカードを介して所定の情報を提供できるようにしたことを特徴とするコミュニケーションカードシステム。

【請求項4】 所定の文字、図形、記号などの標章とが印刷されたシートの一部に隠蔽画像を目視にて認識可能にする透過光学特性を有する光学媒体を設けた第2のコミュニケーションカードと、

情報入力画像データが送出可能となっており、かつ、送出後の情報入力画像データに書き込まれた収集情報を受信したときに、表示用の主映像データ中に顧客に提示する隠蔽映像データを合成し、前記主映像データの画像のみを目視可能状態でかつ前記隠蔽映像データを目視不能状態で表示させる映像出力データを送信できるとともに、前記取り込んだ収集情報を所定の手法で分類することができる第2の情報発信処理手段とを備え、

当該第2のコミュニケーションカードを顧客に配布し、

前記第2の情報処理システムは、所定の情報入力画面データを送出し、かつ、収集情報が受信したときに、前記映像出力データを送出し、前記第2のコミュニケーションカードと隠蔽画面とで顧客とコミュニケーションを行うことができるようにしたことを特徴とするコミュニケーションカードシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、隠蔽画面とそれを顕在化するツールによって顧客とコミュニケーションできるコミュニケーションカードシステムに関するものである。

【0002】

さらに詳しくは、本発明は、コミュニケーションカードと、ユーザー端末装置とを使用し、隠蔽された画面を目視可能にすることにより、低コストで最大限のパフォーマンスを上げることのできるマーケティングを行うための手法を構築

できる拡張性の高いコミュニケーションカードシステムに関するものである。

【0003】

【従来の技術】

従来より、各種事業者は、市場調査や会員獲得をするために、各種のマーケティングツール等を駆使してマーケティングを行っていることは、周知のとおりである。

【0004】

ここで、マーケティングツールの一つとして、パンフレットを利用したマーケティングについて説明する。すなわち、事業者は例えばURL (Uniform Resource Locator; インターネット上に存在する情報にアクセスする手順及び所在を記述する規格) を記述したパンフレットを顧客に配布する。当該顧客は、このパンフレットに記載されたURLをユーザー端末装置に入力することにより事業者のウェブサイトへアクセスする。当該事業者は、前記アクセス時に顧客の情報を収集することにより、市場調査や会員獲得などを行っている（第1の従来技術）。

【0005】

次に、マーケティングツールの一つとして、ダイレクトメールを利用したマーケティングについて説明する。すなわち、事業者は、上述同様にURLを記載したダイレクトメールを顧客に郵送などする。顧客は、ダイレクトメールに記載されたURLをユーザー端末装置に入力することにより事業者のウェブサイトへアクセスする。事業者は、前記アクセス時に顧客の情報を収集することにより、市場調査や会員獲得などを行っている（第2の従来技術）。

【0006】

さらに、マーケティングツールの一つとして、CD (コンパクト・ディスク) を利用したマーケティングについて説明する。すなわち、事業者は、また、当該マーケティングツールの他の方法としては、上述同様にURLを記述したCDを顧客に郵送や配布する。顧客は、当該CDをユーザー端末装置に読み込ませることにより、事業者のウェブサイトへアクセスする。事業者は、前記アクセス時に顧客の情報を収集することにより、市場調査や会員獲得などを行っている（第3の従来技術）。この場合、URLの手作業による入力作業が省けるので、パンフ

レットやダイレクトメールよりもアクセス率がアップすることが期待されている。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述した第1の従来技術によれば、1) 類似のものが多くて目新しさがない、2) パンフレット配布をするために人件費がかかる、3) 配布するツールにはURLの告知のみで、そのツール自体に何らの機能がなく、それゆえ、いつも代わり映えがせず、顧客の興味を惹かない、などの欠点があった。

【0008】

また、上述した第2の従来技術によれば、1) 回収率が低い、2) ウェブサイトへのアクセスが少ない、3) 事業者はダイレクトメールを出すために、多くの労力を費やしている割には利点が少ない、などの欠点があった。さらに、事業者のウェブサイトと店舗、また、商品サービスの再誘導などの融合が図れていない。

【0009】

加えて、上述した第3の従来技術によれば、1) CDを作成し、これを郵送や配布するため、多大なコストがかかる、2) アクセス数は上記第1の従来技術や第2の従来技術よりも増加しているが、顧客登録などにつながらない、という欠点があった。

【0010】

本発明は、上述した欠点を解消し、効率的なウェブサイトへの誘導ができ、顧客データベースを容易に構築でき、しかも、店舗や購入した商品とウェブサイトの融合などが可能なコミュニケーションカードシステムを提供することを目的としている。

【0011】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、請求項1記載の発明は、所定の文字、図形、記号などの標章とが印刷されたシートの一部にコミュニケーション用隠蔽画像が描画された光学媒体を設けた第1のコミュニケーションカードと、

情報入力画像データが送出可能となっており、かつ、送出後の情報入力画像データに書き込まれた収集情報を受信したときに、前記光学媒体内の隠蔽画像を顕在化させる色調を発色させる映像出力データを送信するとともに、前記取り込んだ収集情報を所定の手法で分類することができる第1の情報処理システムと、

各種情報を入力するための情報入力手段、情報入力画像データやその他の表示データを表示する表示手段及び各種制御や情報処理する処理手段を有するユーザー端末装置とを備え、

当該第1のコミュニケーションカードを顧客に配布し、

当該第1のコミュニケーションカードまたは他の媒体で提示されているURLが入力された前記ユーザー端末装置は、前記第1の情報処理システムにアクセスし、所定の情報入力画面データを前記第1の情報処理システムから当該ユーザー端末装置に取込んで前記表示手段に表示させ、前記入力手段を介して当該情報入力画面に所定の情報が入力されたときに当該情報を前記第1の情報処理システムに送出し、

かつ、前記ユーザー端末装置は前記第1の情報発信処理装置から送られてくる映像出力データに基づいた色調を表示手段上に発色させることにより、前記第1のコミュニケーションカードの光学媒体内の隠蔽画像を目視にて認識可能な状態にして、顧客に第1のコミュニケーションカードを介して所定の情報を提供できることを特徴とする。

【0012】

上記目的を達成するため、請求項2記載の発明は、所定のURLと、所定の文字、図形、記号などの標章とが印刷されたシートの一部にコミュニケーション用隠蔽画像が描画された光学媒体を設けた第1のコミュニケーションカードと、

情報入力画像データが送出可能となっており、かつ、送出後の情報入力画像データに書き込まれた収集情報を受信したときに、前記光学媒体内の隠蔽画像を顕在化させる色調を発色させる映像出力データを送信するとともに、前記取り込んだ収集情報を所定の手法で分類することができる第1の情報処理システムとを備え、

当該第1のコミュニケーションカードを顧客に配布し、

第1の情報処理システムは、所定の情報入力画面データを送出し、かつ、収集情報を受信したときには、所定の色調を発色させる映像出力データを送出し、前記第1のコミュニケーションカードの隠蔽画面と発色とで顧客とコミュニケーションを行うことができるようにしたことを特徴とする。

【0013】

上記目的を達成するために、請求項3記載の発明は、所定の文字、図形、記号などの標章とが印刷されたシートの一部に隠蔽画像を目視にて認識可能にする透過光学特性を有する光学媒体を設けた第2のコミュニケーションカードと、

情報入力画像データが送出可能となっており、かつ、送出後の情報入力画像データに書き込まれた収集情報を受信したときに、表示用の主映像データ中に顧客に提示する隠蔽映像データを合成し、前記主映像データの画像のみを目視可能状態でかつ前記隠蔽映像データを目視不能状態で表示させる映像出力データを送信できるとともに、前記取り込んだ収集情報を所定の手法で分類することができる第2の情報発信処理手段と、

各種情報を入力するための情報入力手段、情報入力画像データやその他の表示データを表示する表示手段及び各種制御や情報を処理する処理手段を有するユーザー端末装置とを備え、

当該第2のコミュニケーションカードを顧客に配布し、

当該第2のコミュニケーションカードまたは他の媒体で提示されているURLが入力された前記ユーザー端末装置は、前記第2の情報処理システムにアクセスし、所定の情報入力画面データを前記第2の情報処理システムから当該ユーザー端末装置に取込んで前記表示手段に表示させ、前記入力手段を介して当該情報入力画面に所定の収集情報が入力されたときに当該収集情報を前記第2の情報処理システムに送出し、

かつ、前記ユーザー端末装置は前記第2の情報発信処理装置から送られてくる映像出力データを受信して主映像データを前記表示手段に表示すると同時に隠蔽映像データを目視不能状態で前記表示手段に表示して、前記表示手段上に表示されている隠蔽画像を前記第2のコミュニケーションカードで目視にて認識可能な状態にし、顧客に第2のコミュニケーションを介して所定の情報を提供できるよう

にしたことを特徴とする。

【0014】

上記目的を達成するために、請求項4記載の発明は、所定の文字、図形、記号などの標章とが印刷されたシートの一部に隠蔽画像を目視にて認識可能にする透過光学特性を有する光学媒体を設けた第2のコミュニケーションカードと、

情報入力画像データが送出可能となっており、かつ、送出後の情報入力画像データに書き込まれた収集情報を受信したときに、表示用の主映像データ中に顧客に提示する隠蔽映像データを合成し、前記主映像データの画像のみを目視可能状態でかつ前記隠蔽映像データを目視不能状態で表示させる映像出力データを送信できるとともに、前記取り込んだ収集情報を所定の手法で分類することができる第2の情報発信処理手段とを備え、

当該第2のコミュニケーションカードを顧客に配布し、

前記第2の情報処理システムは、所定の情報入力画面データを送出し、かつ、収集情報が受信したときに、前記映像出力データを送出し、前記第2のコミュニケーションと隠蔽画面とで顧客とコミュニケーションを行うことができるようにしたことを特徴とする。

【0015】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

【0016】

〔第1の発明の基礎〕

図1ないし図2は本第1の発明の基礎に係るコミュニケーションカードシステムを説明するためのものである。ここで、本第1の発明とは、ユーザー端末装置の表示手段を所定の色調で発色させることにより、第1のコミュニケーションカードの光学媒体内の隠蔽画像を目視にて認識可能な状態にし、顧客に第1のコミュニケーションの光学媒体内にある所定の情報を提供できるようにしたシステムのことをいう。

【0017】

図1は、本第1の発明の基礎に係るコミュニケーションカードシステムを示す

ブロック図である。

【0018】

図1において、本第1の発明の基礎に係るコミュニケーションカードシステム1は、大別すると、第1のコミュニケーションカード2と、第1の情報処理システム3と、映像表示認識システム5, 5, ...とからなる。前記第1の情報処理システム3は、インターネットなど通信を行なうことができる通信系統4を介して各映像表示認識システム5, 5, ...に接続されている。

【0019】

前記第1のコミュニケーションカード2は、事業者（以下、「情報発信者」という）が用意し、当該情報発信者が当該第1のコミュニケーションカード2をユーザーに対して頒布するものとする（以下、同様とする）。なお、図1では、符号hで示す点線により、情報発信者が第1のコミュニケーションカード2を顧客（以下、「ユーザー」という）に頒布している状態を表示しているものとする。

【0020】

また、前記第1のコミュニケーションカード2の表面には、上述したURLと、所定の文字、図形、記号などの標章（具体的には、例えば「カードの名称」、「カード発行会社名」、「カードの説明」、「チェックビット番号（図では、ラッキーナンバーと表記されている）」など）とが印刷表示されているものとする。この第1のコミュニケーションカード2に印刷表示されているチェックビット番号は、当該第1のコミュニケーションカード2の一枚毎に内容が異なるように設定されているものとする（以下、同じ）。なお、チェックビット番号については、公知の技術を使用し、説明を省略する。

【0021】

また、情報発信者は、上記第1のコミュニケーションカード2と、第1の情報処理システム3とを使用し、前記第1のコミュニケーションカード2の当該チェックビット番号と前記第1の情報処理システム3から発信される映像出力データとにより、コミュニケーションを行なえるようにしたものである。

【0022】

ここで、第1の情報処理システム3は、例えば、映像発信サーバー31と、こ

の映像発信サーバー 3 1 に情報を設定する情報設定手段 3 2 と、受信情報処理手段 3 3 とからなる。

【0023】

上記情報設定手段 3 2 は、前記第 1 のコミュニケーションカード 2 の光学媒体の使用方法を説明する図面や説明文や、前記第 1 のコミュニケーションカード 2 の光学媒体内の隠蔽画像を顕在化させる色調を発色させるデータ等の情報を入力できるようになっていて、当該入力された情報を映像発信サーバー 3 1 に供給できるようになっている。

【0024】

前記映像発信サーバー 3 1 は、情報設定手段 3 2 に入力し設定された情報を基に、情報入力画像データが送出可能となっていて、かつ、送出後の情報入力画像データに書き込まれた収集情報を受信したときに、前記第 1 のコミュニケーションカード 2 の光学媒体の使用方法を説明する図面や説明文や、第 1 のコミュニケーションカード 2 内の隠蔽画像を顕在化させる色調を発色させる映像出力データを通信系統 4 に送信できる。

【0025】

前記受信情報処理手段 3 3 は、映像表示認識システム 5 から通信系統 4 を介して送られてくる情報を受信したときに（送出後の情報入力画像データに書き込まれた収集情報を受信したときに）、前記取り込んだ収集情報を所定の手法で分類することができる。また、受信情報処理手段 3 3 は、前記第 1 のコミュニケーションカード 2 に印刷表示されているチェックビット番号の情報が映像表示認識システム 5、通信系統 4 を介して送られてきたときに、当該チェックビット番号の情報を基に、抽選等を行ってその結果を通信系統 4 を介して当該映像表示認識システム 5 に送出できる。

【0026】

また、上記映像表示認識システム 5 は、図 1 に示すように、前記情報処理システム 3 の映像発信サーバー 3 1 からの映像出力データに基づいた色調を発色するユーザー端末装置 5 1 を備え、前記ユーザー端末装置 5 1 に表示されている色調に前記第 1 のコミュニケーションカード 2 の光学媒体をかざすことにより前記第

1.のコミュニケーションカード2の光学媒体内の隠蔽画像を目視にて認識可能にするものである。このユーザー端末装置51は、例えばユーザーが使用できる状態にあるパーソナルコンピュータ（以下、「パソコン」という）であれば、自己所有や他人所有のものであってもよい。また、このユーザー端末装置51は、当然、各種情報を入力するための情報入力手段と、情報入力画像データやその他の表示データを表示する表示手段と、各種制御や情報を処理する処理手段とを備えている必要がある。なお、ユーザー端末装置51の他の例としては、上記パソコン以外に、上記通信系統4に接続可能な各種コンピュータを挙げることができる。

【0027】

この場合にも、映像発信サーバー31は、情報発信者の所有であっても所有でなくてもよい。要は、情報発信者とユーザーとが、第1のコミュニケーションカード2を通じてコミュニケーションを行なうことができるものであればよい。

【0028】

さらに、上記ユーザー端末装置51としては、モバイル端末や携帯電話を挙げることができるが、この場合の映像発信サーバー31は電気通信事業者の設置する情報発信サーバーが相当する。加えて、上記ユーザー端末装置51としては、双方向通信が可能な通信カラオケ装置や、双方向通信が可能なCATV受信装置や、双方向通信が可能なテレビジョン受像機などが挙げられるが、この場合の情報処理システム3の情報送信部分は、送信所に設置された送信機が相当することになる。

【0029】

図2は、本第1の発明の基礎に係るコミュニケーションカードシステムで使用する第1のコミュニケーションカードの構成を示す平面図である。

【0030】

この第1のコミュニケーションカード2は、図2に示すように、例えば紙やプラスチックなどの薄い平板状の基材で構成したシート21の表面に、所定の文字、図形、記号などの標章（「カードの名称」、「カード発行会社」、「会社やイメージのロゴ」、「URL」、「チェックビット番号（図では、ラッキーナンバ

一と表記)」、「背景模様」、「その他」)が印刷表示されている。なお、前記各標章の中で、符号22はチェックビット番号を表すものとする。当該シート21の表面の図示下部に印刷表示されているチェックビット番号22は、当該第1のコミュニケーションカード2に一枚毎に内容が異なるように設定されている。

【0031】

また、前記第1のコミュニケーションカード2は、図2に示すように、シート21の一部に、所定の面積を有する光学媒体23を配置している。この光学媒体23には、コミュニケーション(伝達)しようとする隠蔽画像が描画されている。前記光学媒体23は、透明あるいは半透明のフィルムやアクリルやプラスチックやビニールなどの透過性のある薄板の上に、所定のインクで隠蔽画像を設け、その隠蔽画像上に異なる色のインクで他の画像を設けた構成になっている。

【0032】

さらに、前記第1のコミュニケーションカード2には、図2に示すように、シート21の図示上下部に、URL24、25が印刷されている。

【0033】

なお、当該第1のコミュニケーションカード2の光学媒体23に設けられた隠蔽画像は、ユーザー端末装置51で表示される色調と補色の関係になるように設定されている。この補色の関係になる設定は、ユーザーには分からないようになっている。

【0034】

このように構成した本第1の発明に係るコミュニケーションカードシステム、このコミュニケーションカードシステムに使用する情報処理システム及び映像表示認識システムの動作を、図1及び図2を参照して説明する。

【0035】

まず、情報発信者は、あらかじめ定めた処理手順にしたがって、所定のコミュニケーション(伝達)したい内容に従って、上述したような構成の第1のコミュニケーションカード2を作成しておくものとする。

【0036】

ついで、情報発信者は、当該第1のコミュニケーションカード2の使用の方法

についての図や説明文や解説の音声データ等の情報を、情報処理システム3の情報設定手段32に設定する。同様に、当該第1のコミュニケーションカード2の隠蔽画像を顕在化させる色調の情報を、情報処理システム3の情報設定手段32に設定する。

【0037】

これにより、情報処理システム3の映像発信サーバー31は、当該第1のコミュニケーションカード2の使用方法に関する映像出力データ、あるいは、当該第1のコミュニケーションカード2の隠蔽画像を顕在化させる色調の情報を、ユーザー端末装置51に送信可能になる。

【0038】

次に、情報発信者は、第1のコミュニケーションカード2をユーザーに配布する（図1の符号h参照）。

【0039】

ユーザーは、ユーザー端末装置51の例えばブラウザに、前記第1のコミュニケーションカード2に記載されているURL24、25を入力し、情報処理システム3の映像発信サーバー31にアクセスして、情報入力画像データと、第1のコミュニケーションカード2の使用の仕方に関するデータとをユーザー端末装置51に取り込む。これにより、ユーザー端末装置51は、音声や映像により、第1のコミュニケーションカード2の使用の仕方が提示されるとともに、情報入力画像が表示手段に表示される。

【0040】

ユーザーは、ユーザー端末装置51のディスプレイ上の画面を見て当該第1のコミュニケーションカード2の使用方法を理解できる。

【0041】

また、ユーザーは、ユーザー端末装置51の入力手段を使用し、当該情報入力画像データに表示された入力窓に必要事項を書き込むことによって、第1の情報処理システム3の受信情報処理手段33に当該情報を与える。これにより、受信情報処理手段33は、映像発信サーバー31に指令を出し、当該第1のコミュニケーションカード2の光学媒体23の隠蔽画像を顕在化させる映像出力データを

映像表示認識システム5のユーザー端末装置51に送出する。

【0042】

これにより、ユーザー端末装置51の表示手段（以下、「ディスプレイ」という）は、前記第1のコミュニケーションカード2の光学媒体23の隠蔽画像を顕在化させる色調で発色することになる。

【0043】

ユーザーは、第1のコミュニケーションカード2の光学媒体23部分を、ユーザー端末装置51のディスプレイ上に当接させる。これにより、第1のコミュニケーションカード2の光学媒体23に設けられた隠蔽画像は、前記ユーザー端末装置51のディスプレイ上に発色している色調と補色関係が成立することになって顕在化する。したがって、ユーザーは第1のコミュニケーションカード2の光学媒体23に設けられた隠蔽画像を認識することができる。上述したように第1のコミュニケーションカード2の光学媒体23に設けた隠蔽画像は顕在し、例えば「当たり」というような文字として現れることになる。

【0044】

このときに、第1のコミュニケーションカード2のシート21上に印刷表示されているチェックビット番号22の情報を、ユーザーは、ユーザー端末装置51を介して情報処理システム3の受信情報処理手段33に送信する。このときに、ユーザー端末装置51からは、当該第1のコミュニケーションカード2のチェックビット番号22の情報の他に、入力した情報、端末装置番号や顧客ID等も同時に送信されるものとする。

【0045】

上記第1の情報処理システム3の受信情報処理手段33では、ユーザー端末装置51から送られてきた第1のコミュニケーションカード2のチェックビット番号22に関する情報を基に、抽選等の処理をする。このとき、情報処理システム3の受信情報処理手段33は、同一の第1のコミュニケーションカード2によるチェックビット番号22の情報が2度送られてきたときには、受信を拒否できるように設定されている。情報処理システム3の受信情報処理手段33は、上記抽選等の処理した結果を、再び、ユーザー端末装置51に送出する。

【0046】

ユーザーは、ユーザー端末装置51に表示された、受信情報処理手段33から受信した情報を基に、例えばクイズに当選したことを知ることができたり、所望の商品情報を得ることができたりすることを知ることができる。

【0047】

なお、第1の情報処理システム3の受信情報処理手段33は、当該第1のコミュニケーションカード2のチェックビット番号22に基づく情報や、端末装置番号や、顧客ID等により各種の情報処理をすることができる。この受信情報処理手段33による情報処理は、例えば、顧客管理や、顧客の嗜好動向や、その他、顧客に関する情報についての内容である。

【0048】

このような本第1の発明の基礎によれば、第1のコミュニケーションカード2の光学媒体23に設けられた隠蔽映像を、ユーザー端末装置51のディスプレイ上に表示された所定の色調の発色が存在するときのみに認識可能になるため、隠蔽秘匿したい情報の秘匿度が高くなる。

【0049】

また、本第1の発明の基礎によれば、第1のコミュニケーションカード2の光学媒体23上に設ける隠蔽画像と、映像出力データとの関係は、映像情報発信者側で任意に作成できるため、隠蔽秘匿したい情報の秘匿度が高くなる。

【0050】

加えて、上記第1の実施の形態によれば、隠蔽秘匿したい画像を効果的に認識可能にすることができる。

【0051】

〔第2の発明の基礎〕

図3ないし図6は本第2の発明の基礎に係るコミュニケーションカードシステムを説明するためのものである。ここで、本第2の発明とは、ユーザー端末装置で受信した主映像データを前記表示手段に表示すると同時に隠蔽映像データを目視不能状態で前記表示手段に表示し、前記表示手段上に表示されている隠蔽画像を前記第2のコミュニケーションカードで目視にて認識可能な状態にし、顧客に

第2のコミュニケーションを介して所定の情報を提供できるようにしたシステムのことをいう。

【0052】

図3は、本第2の発明の基礎に係るコミュニケーションカードシステムを示すブロック図である。

【0053】

この図3において、本第2の発明の基礎に係るコミュニケーションカードシステム1aは、大別すると、第2のコミュニケーションカード2aと、第1の情報処理システム3aと、映像表示認識システム5a、5a、…とからなる。前記第2の情報処理システム3aは、インターネットなど通信を行なうことができる通信システム4aを介して各映像表示認識システム5a、5a、…に接続されている。

【0054】

前記第2のコミュニケーションカード2aは情報発信者が用意し、当該情報発信者が当該第2のコミュニケーションカード2aをユーザーに対して頒布する。なお、この図3では、符号hで示す点線により、情報発信者が第2のコミュニケーションカード2aをユーザーに頒布している状態を表示しているものとする。

【0055】

また、前記第2のコミュニケーションカード2aの表面には、URLやチェックビット番号（ラッキーナンバー）やその他の文字、図形、記号などの標章が印刷表示されているものとする。この第2のコミュニケーションカード2aに印刷表示されているチェックビット番号は、上記第1の発明の基礎と同様に、当該第2のコミュニケーションカード2aの一枚毎に内容が異なるように設定されている。ここで、第2の情報処理システム3aは、例えば、映像発信サーバー31aと、この映像発信サーバー31aに情報を設定する情報設定手段32aと、受信情報処理手段33aとからなる。

【0056】

前記第2の情報処理システム3aの映像発信サーバー31aは、表示用の主映像データ中にコミュニケーションしようとする隠蔽映像データを合成し、前記主映像データの画像のみを目視可能状態でかつ前記隠蔽映像データを目視不能状態

で表示させる映像出力データを送信できるようになっている。

【0057】

前記第2の情報処理システム3aの情報設定手段32aは、前記第2のコミュニケーションカード2aの光学媒体の使用方法を説明する図面、説明文及び音声データや、前記コミュニケーションしようとする隠蔽映像データの情報を入力できるようになっていて、当該入力された情報を映像発信サーバー31aに供給できるようになっている。

【0058】

また、第2の情報処理システム3aの受信情報処理手段33aは、上記第1の情報処理システム3の受信情報処理手段33と同じように動作でき、かつ、当該第2のコミュニケーションカード2aのチェックビット番号に基づく情報や、端末装置番号や、顧客ID等により各種の情報処理をすることができる。この受信情報処理手段33aによる情報処理は、例えば、顧客管理や、顧客の嗜好動向や、その他、顧客に関する情報についての内容である。

【0059】

また、上記映像表示認識システム5aは、図3に示すように、ユーザーが所有し、目視不能な隠蔽映像データによる隠蔽画像及び主映像データによる主画像を表示するユーザー端末装置51aを具え、前記情報発信者から配布された第2のコミュニケーションカード2aを前記ユーザー端末装置51aの画面にかざすことにより、隠蔽画像を顕在化できるようになっている。ここで、前記第2のコミュニケーションカード2aの光学媒体は、隠蔽映像データによる隠蔽画像または背景の色との間で補色の関係が成立する透過光学特性を持たせた媒体から構成したものである。

【0060】

このユーザー端末装置51aとしては、隠蔽画像及び主画像を表示できるディスプレイと、所定の情報を入力できるキーボード等の入力手段を備えた装置を採用した構成とすればよい。

【0061】

また、ユーザー端末装置51aの他の例としては、パソコン以外に、上記通信

系統4aに接続可能な各種コンピュータを挙げることができる。

【0062】

上記ユーザー端末装置51aとしては、モバイル端末や携帯電話を挙げることができるが、この場合の映像発信サーバー31aは電気通信事業者の設置する情報発信サーバーが相当する。加えて、上記ユーザー端末装置51aとしては、双方向通信が可能な通信カラオケ装置や、双方向通信が可能なC b T V受信装置や、双方向通信を行なうことができるテレビジョン受像機などが挙げられるが、この場合では、映像発信サーバー31aは、送信所に設置された送信機が相当することになる。

【0063】

図4は、本第2の発明の基礎に係るコミュニケーションカードシステムで使用するコミュニケーションカードの構成を示す平面図である。

【0064】

この第2のコミュニケーションカード2aは、図4に示すように、例えば紙やプラスチックなどの薄い平板状をした基材で構成したシート21aの一部に、所定の面積を有する光学媒体23aを配置してなる構成をしている。前記第2のコミュニケーションカード2aのシート21aの表面には、図4に示すように、必要に応じて標章（例えば、チェックビット番号22aやURL24a, 25aやその他カードの名称やロゴなど）を印刷しておく。

【0065】

また、第2のコミュニケーションカード2aの一部に設けられた光学媒体23aは、前記ユーザー端末装置51aに表示された画像のうち、隠蔽映像データによる隠蔽画像または背景の色との間で補色の関係が成立する透過光学特性を持たせた透過媒体から構成したものである。すなわち、光学媒体23aは、透明のフィルムやアクリル薄板などの薄板基板に色の補色関係を保つ透過性の塗料を特殊コーティングして構成したものである。

【0066】

このように構成した第2の発明の基礎に係るコミュニケーションカードシステム、このコミュニケーションカードシステムに使用する第2の情報処理システム

及び映像表示認識システムの動作を、図3及び図4を基に、図5及び図6を参照して説明する。

【0067】

ここで、図5(a)は本第2の発明の基礎に係る第2の情報処理システムで使用する第2のコミュニケーションを示す図であり、図5(b)は、本第2の発明の基礎に係る第2の情報処理システムが発信する合成映像データを映像表示認識システムのディスプレイによって表示した合成画像の例を示す説明図である。図6は、本第2の発明の基礎において、映像表示認識システムのディスプレイに第2のコミュニケーションカードをかざした結果、ディスプレイ上に表示された合成画像の中に隠蔽画面が顕在化した状態を示す説明図である。

【0068】

まず、情報発信者側では、あらかじめ定めた処理手順にしたがって、所定のコミュニケーションしたい内容について、第2のコミュニケーションカード2aを作成しておく。

【0069】

ついで、情報発信者側では、当該第2のコミュニケーションカード2aの使用の方法に関する情報と、隠蔽画像に関する情報とを、前記情報設定手段32aを介して映像発信サーバー31aに入力しておく。

【0070】

情報発信者は、ユーザーに対して、第2のコミュニケーションカード2aを配布しておく(図3の符号h参照)。

【0071】

ユーザーは、ユーザー端末装置51aのブラウザに、前記第2のコミュニケーションカード2aを入力し、ユーザー端末装置51aから第2の情報処理システム3aの映像発信サーバー31aに接続し、第2のコミュニケーションカード2aの使用の仕方の画像データと、情報入力画像データとを取得する。ユーザーは、ユーザー端末装置51aのディスプレイに表示された映像やスピーカから聞こえる音声などから、第2のコミュニケーションカード2aの使用の仕方を理解する。

【0072】

しかる後に、ユーザーは、入力手段を使用し、ユーザー端末装置51aのディスプレイに表示されている情報入力画像に必要な情報を入力し、送信ボタンを押す。すると、ユーザー端末装置51aは、当該情報入力画像の収集データを受信情報処理手段33aに送信する。受信情報処理手段33aは、当該収集情報を取り込むと映像発信サーバー31aに指示し、映像発信サーバー31aから映像出力データをユーザー端末装置51aに送出する。

【0073】

これにより、ユーザー端末装置51aには、前記映像発信サーバー31aから当該隠蔽映像データを主映像データに合成した映像出力データを得ることができる。

【0074】

これにより、上記ユーザー端末装置51aのディスプレイには、図5(b)に示すように、合成映像データ内の主映像データによる主画像90が表示される。この主画像90の内部には、図5(b)に示すように、当該主画像90によって隠蔽された隠蔽画像91が表示されているが、そのままでは目視不能である。

【0075】

ユーザーは、図5(a)から図5(b)に示す符号Pのように、あらかじめ配布された第2のコミュニケーションカード2aの光学媒体23a部分を当該主画像90の隠蔽画像91の部分に当接する。これにより、映像表示認識システム5aのユーザー端末装置51aのディスプレイ上には、図6に示すように、第2のコミュニケーションカード2aの光学媒体23aを当接した部分に、コミュニケーションしようとした情報が顕在画像92として現れてくることになる。

【0076】

この第2の発明の基礎では、顕在画像92としては、図6に示すように例えば「30%OFF」のような文字が現れてくることになる。この顕在画像92が現れる理由は、図6に示す主画像90の隠蔽画像91の部分の文字の色と、上記第2のコミュニケーションカード2aの光学媒体23aの色とが補色の関係に保たれるように設定されていることから、文字部分が例えば黒色となって顕在化する

ものである。

【0077】

このように上記第2のコミュニケーションカード2aによって、ユーザー端末装置51aのディスプレイ上に表示されたコミュニケーションしようとした情報を、ユーザーに認識させることができる。

【0078】

ユーザーは、第2のコミュニケーションカード2aのチェックビット番号22aを、ユーザー端末装置51aから第2の情報処理システム3aの受信情報処理手段33aに送信する。

【0079】

この第2のコミュニケーションカード2aのチェックビット番号22aは、受信情報処理手段33aにおいて例えば抽選処理等される。受信情報処理手段33aにおいて処理結果は、通信系統4aを介してユーザー端末装置51aに与えられる。

【0080】

したがって、ユーザーは、ユーザー端末装置51aのディスプレイに表示される受信情報処理手段33aからの回答を基に、例えば、クイズに当選したことを知ることができたり、所望の商品情報を得ることができる。

【0081】

なお、このときに、ユーザー端末装置51aは、チェックビット番号22aと、端末装置番号や顧客ID等も送信されるものとする。したがって、受信情報処理手段33aは、第2のコミュニケーションカード2aのチェックビット番号22aが2度送られてきたときには、受信を拒否できるようになっている。

【0082】

また、上記受信情報処理手段33aは、当該チェックビット番号及び端末装置番号や顧客ID等により各種の情報処理をすることができる。この受信情報処理手段33aによる情報処理は、例えば、顧客管理や、顧客の嗜好動向や、その他、顧客に関する情報についての内容である。

【0083】

このように本第2の発明の基礎では、第2の情報処理システム3aは、主映像データに対して、コミュニケーションしたい情報を隠蔽映像データとして合成し合成映像データとして各映像表示認識システム5a, 5a, …に配信し、かつ、ユーザー側では、ユーザー端末装置51aのディスプレイ上に表示された主画像90の中にコミュニケーションしたい情報が隠蔽画像91として表示され、第2のコミュニケーションカード2aの光学媒体23で隠蔽画像91を顕在化させることにより、ユーザーに所望のコミュニケーションデータを与えることができることになる。

【0084】

このような本第2の発明の基礎によれば、第2のコミュニケーションカード2aの光学媒体23aには何らの情報も記載されておらず、ユーザー端末装置51aのディスプレイ上に表示された隠蔽画像91が存在するときのみ、コミュニケーションデータを認識可能になるため、隠蔽秘匿したい情報の秘匿度が高くなる。

【0085】

また、本第2の発明の基礎によれば、隠蔽映像データは第2の情報処理システム3a側で任意に作成できるため、コミュニケーションしたい画像の変更の自由度が高いという利点がある。

【0086】

さらに、本第2の発明の基礎によれば、動きのある隠蔽秘匿したい画像を表示することができる。

【0087】

加えて、本第2の発明の基礎によれば、隠蔽秘匿したい画像を効果的に認識可能にすることができる。

【0088】

[第2の発明変形例]

図7ないし図10は本第2の発明の基礎の変形例に係るコミュニケーションカードシステムを説明するためのものである。ここで、第2の発明の基礎の変形例とは、特定の位置に透過光学特性を持つ光学媒体を設けたコミュニケーションカ

ード2bと、当該特定位置に関連する位置に隠蔽画像を表示する映像表示認識システムとにより、映像表示認識システムのディスプレイに表示された隠蔽画像を顕在化するようにしたシステムである。

【0089】

図7は、本第2の発明の変形に係るコミュニケーションカードシステムを示すブロック図である。

【0090】

この図7において、本第2の発明の基礎の変形例に係るコミュニケーションカードシステム1bは、大別すると、コミュニケーションカード2bと、隠蔽映像発信システム3bと、映像表示認識システム5b、5b、…とからなる。前記隠蔽映像発信システム3bは、インターネットなど通信を行なうことができる通信系統4bを介して各映像表示認識システム5b、5b、…に接続されている。

【0091】

上記隠蔽映像発信システム3bは、図7に示すように、映像発信サーバー31bと、情報設定手段32bと、受信情報処理手段33bとからなる。ここで、映像発信サーバー31bは、第2の発明の基礎と同様に、例えば映像発信サーバーで構成すればよい。また、前記コミュニケーションカード2bは、隠蔽画像を目視にて認識可能にする透過光学特性を有する光学媒体を一部に備えた平板形状をしたカードから構成されている。このコミュニケーションカード2bの光学媒体は、隠蔽映像データによる隠蔽画像を構成する表示点の位置に合わせた透過部を設けた透過光学特性を有する媒体から構成したものである。

【0092】

また、上記映像表示認識システム5bは、図7に示すように、ユーザーが所有し、あるいは、ユーザーが使用できる状況になっていて、目視不能な隠蔽映像データによる隠蔽画像及び主映像データによる主画像を表示するユーザー端末装置51bを具え、このユーザー端末装置51bに表示された目視不能な隠蔽映像データを目視にて認識可能にする透過光学特性を有する光学媒体を備えたコミュニケーションカード2bを、前記ユーザー端末装置51bのディスプレイに表示されている画像にかざすことにより、顕在化できるようになっている。

【0093】

このユーザー端末装置51bと隠蔽映像発信システム3bとの関係は、上記第1の実施の形態や上記第2の実施の形態と同様である。

【0094】

図8は、本第2の発明の基礎の変形例に係るコミュニケーションカードシステムで使用するコミュニケーションカードの構成を示す平面図である。

【0095】

このコミュニケーションカード2bは、図8に示すように、例えば紙やプラスチックなどの薄い平板状をした基材で構成したシート21bの一部に、所定の面積を有する光学媒体23bを配置してなる構成をしている。前記第1のコミュニケーションカード2bのシート21bの表面には、図示しないが必要に応じて画像や文字を印刷しておく。この場合、当該コミュニケーションカード2bの表面には、第1の実施の形態や第2の実施の形態と同様に、当該シート21bの表面に、標章（チェックビット番号22bやURL24, 25やその他の情報等）を印刷しておくことが望ましい。

【0096】

また、上記コミュニケーションカード2bの一部に設けられた光学媒体23bは、前記ユーザー端末装置51bのディスプレイに表示された画像のうち、隠蔽映像データによる隠蔽画像を構成する表示点の位置に合わせた透過部を設けた透過光学特性を有する媒体から構成したものである。すなわち、光学媒体23bは、不透明のフィルムやアクリル薄板、あるいは、透明のフィルムやアクリル薄板に光を透過しない塗料を当該フィルムやアクリル薄板の全面に塗布してなるものなどの薄板状のシート21bに、例えば5.0～0.1[mm]程度の孔29, 29, …（これら孔29, 29, …は、図8では、黒色で示している。）を、隠蔽映像データによる隠蔽画像を構成する表示点の位置に合わせた穿設してなるものである。なお、この光学媒体23bは、穿設した孔29, 29, …の他に、隠蔽画像を認識するに邪魔にならない程度にダミー孔を設けることにより、秘匿性を高めてもよい。

【0097】

なお、上記光学媒体 23 b では、シート 21 b に孔 29, 29, … を設けた例で説明したが、例えば透明のフィルムやアクリル薄板に光を透過しない塗料を当該フィルムやアクリル薄板の全面に塗布してなるものなどの薄板状のシート 21 b の場合には、孔 29, 29, … に代えて、当該孔 29, 29, … 部分の塗料をはぎ取って透過部分を構成するようにしてもよい。

【0098】

このように構成した第 2 の発明の基礎の変形例に係るコミュニケーションカードシステム、このコミュニケーションカードシステムに使用する隠蔽映像発信システム及び映像表示認識システムの動作を、図 7 及び図 8 を基に、図 9 及び図 10 参照して説明する。

【0099】

ここで、図 9 は、本第 2 の発明の基礎の変形例に係る隠蔽映像発信システムが発信する合成映像データを映像表示認識システムの表示装置によって表示した合成画像の例を拡大して示す説明図である。図 10 は、本第 2 の変形例に係る隠蔽映像発信システムが発信する合成映像データを映像表示認識システムのディスプレイによって表示した合成画像の中に隠蔽画面が顕在化した状態を拡大して示す説明図である。

【0100】

まず、情報発信者側は、あらかじめ定めた処理手順にしたがって、所定のコミュニケーションサービスしたい内容に基づいて、コミュニケーションカード 2 b を作成する。

【0101】

ついで、情報発信者側は、当該コミュニケーションカード 2 b の使用の方法に関する情報と、隠蔽画像に関する情報とを、前記情報設定手段 32 b を介して映像発信サーバー 31 b に入力しておく。

【0102】

情報発信者は、ユーザーに対して、コミュニケーションカード 2 b を配布しておく（図 7 の符号 h 参照）。

【0103】

ユーザーは、ユーザー端末装置51bのブラウザにURLを入力し、ユーザー端末装置51bを隠蔽映像発信システム3bの映像発信サーバー31bに接続し、情報入力画像データを取り込むとともに、第1のコミュニケーションカード2bの使用の仕方のデータを取り込む。ユーザーは、ユーザー端末装置51bのディスプレイに表示された映像やスピーカから聞こえる音声などから、第1のコミュニケーションカード2bの使用の仕方を理解する。また、ディスプレイ上の情報入力画像に必要なデータを入力すると、ユーザー端末装置51bは、そのデータを受信情報処理手段33bに送出する。受信情報処理手段33bは、収集情報を受け取ると、映像発信サーバー31bに映像出力データの送出指令を与える。

【0104】

しかる後に、映像発信サーバー31bは、送出指令を受けると、映像発信サーバー31bから映像出力データをユーザー端末装置51bに送出を要求する。

【0105】

その結果、ユーザー端末装置51bには、前記映像発信サーバー31bから当該隠蔽映像データを主映像データに合成した映像出力データを得ることができる。これにより、上記ユーザー端末装置51bのディスプレイには、図9に示すように、合成映像データ内の主映像データによる主画像90bが表示される。この主画像90bの内部には、当該主画像によって隠蔽された所定の配置の発光点50, 50, … (当該発光点50, 50, …は、図9では、黒色で示してある) から構成される隠蔽画像91bが表示されているが、通常、そのままでは目視不能に表示されるようにしてある。

【0106】

ユーザーは、あらかじめ配布されたコミュニケーションカード2bの光学媒体23bの部分を当該主画像の隠蔽画像91bの部分に当接すると、コミュニケーションしようとした情報が、図9に示すように、顕在画像92bとして現れてくることになる。

【0107】

この第2の発明の基礎の変形例では、顕在画像92bとしては、例えば「パンダの図形」が現れてくることになる。この顕在画像92bが現れる理由は、図1

0に示す主画像の隠蔽画像91bの部分の発光点（図では黒色50, 50, …で表示されている）の位置と、上記第1のコミュニケーションカード2bの光学媒体23bの孔29, 29, …の位置とが所定の関係に保たれるように設定されていることから、「パンダの図形」が第3の実施の形態では黒色の図形となって顕在化するものである。

【0108】

このように上記コミュニケーションカード2bによって、ユーザー端末装置51bのディスプレイ上に表示されたコミュニケーションしようとした情報を、ユーザーに認識させることができる。

【0109】

ユーザーは、この認識した情報を基に、所定の情報を得ることができる。ユーザーは、当該情報を基に、ユーザー端末装置51bを使用し、前記コミュニケーションカード2bに印刷されているコード番号を通信系統4bを介して隠蔽映像発信システム3bの受信情報処理手段33bに送信し、所定のサービスを受けることができる。なお、上記受信情報処理手段33bは、同一のカード番号が2度送られてきたときには、上記第1の発明の基礎や第2の発明の基礎と同様に、受信を拒否することができる。

【0110】

上記受信情報処理手段33bによる顧客情報の処理については、上記第1の発明の基礎と第2の発明の基礎と同様に行なうことができる。

【0111】

このように本第2の発明の基礎の変形例では、隠蔽映像発信システム3bは、主映像データに対して、コミュニケーションしたい情報を隠蔽映像データとして合成し合成映像データとして各映像表示認識システム5b, 5b, …に配信し、かつ、ユーザー側では、ユーザー端末装置51bのディスプレイ上に表示された主画像の中にコミュニケーションしたい情報が隠蔽画像91bとして表示され、上記コミュニケーションカード2bの光学媒体23bで隠蔽画像91bを顕在化させることにより、ユーザーに所望のコミュニケーションデータを与えることができることになる。

【0112】

このような第2の発明の基礎の変形例によれば、上記第1の発明の基礎や上記第2の発明の基礎と同様に、次のような利点を得ることができる。

【0113】

(1) コミュニケーションカード2bの光学媒体23bには何らの情報も記載されておらず、ユーザー端末装置51bのディスプレイ上に表示された隠蔽画像91bが存在するときのみ、コミュニケーションデータを認識可能になるため、隠蔽秘匿したい情報の秘匿度が高くなる。

(2) 隠蔽映像データは隠蔽映像発信システム側で任意に作成できるため、コミュニケーションしたい画像の変更の自由度が高い。

(3) 動きのある隠蔽秘匿したい画像を表示することができ、かつ、隠蔽秘匿したい画像を効果的に認識可能にすることができる。

【0114】

[その他の発明の基礎]

上記第1の発明の基礎、第2の発明の基礎、第2の発明の基礎の変形例は、それぞれオンラインシステムで説明したが、他の発明の基礎としてはオフラインシステムで構成してもよい。すなわち、本発明の他の実施の形態において、隠蔽映像発信システムは、コミュニケーションしたい情報を隠蔽映像データとし主映像データに合成して合成映像データにし、この合成映像データを例えばビデオテープ、CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVDなどの記憶媒体に格納し、当該記憶媒体を映像表示認識システム側に渡し、これら記憶媒体の映像データを映像表示認識システムのユーザー端末装置で再生し、かつ、あらかじめ頒布されたピースにより、隠蔽画像を顕在化し、コミュニケーション情報をユーザーに与えるようにしてもよい。

【0115】

この場合、ユーザーからの情報は、電子メールや通常の郵便を使用するなどすればよい。

【0116】

また、上記他の実施の形態において、隠蔽映像発信システムが発信する隠蔽映

像データ及びユーザーに頒布するピースは、上記第1の実施の形態ないし第3の実施の形態で使したものを使用することができる。

【0117】

このような他の実施の形態によっても、上記第1の実施の形態ないし第3の実施の形態の利点を得ることができる。

【0118】

〔第1の発明〕

図11は、本第1の発明の実施の形態に係るコミュニケーションカードシステムを示す図である。ここで、第1の発明とは、既に説明したが、ユーザー端末装置のディスプレイを所定の色調で発色させることにより、第1のコミュニケーションカードの光学媒体内の隠蔽画像を目視にて認識可能な状態にし、顧客に第1のコミュニケーションの光学媒体内にある所定の情報を提供できるようにしたシステムのことをいう。なお、第1の発明の基礎と同一構成要素には、基本的に同一の符号を付して説明する。

【0119】

本第1の発明の実施の形態に係るコミュニケーションカードシステム101は、図11に示すように、事業者（情報発信者）103側では、各種標章（例えば同一番号のないチェックビット番号（ラッキーナンバー）22や、URL24、25や、カードの名称など）を印刷した第1のコミュニケーションカード2と、第1の情報処理システム3とを備え、また、ユーザー側ではユーザー端末装置51を備えることにより構成されることになる。なお、コミュニケーションカードシステム101aといったときには、事業者（情報発信者）103側において、各種標章（例えば同一番号のないチェックビット番号（ラッキーナンバー）22や、URL24、25や、カードの名称など）を印刷した第1のコミュニケーションカード2と、第1の情報処理システム3とを備えているものも含む。

【0120】

さらに説明すると、前記ラッキーナンバー22や、URL24、25を印刷した第1のコミュニケーションカード2と、第1の情報処理システム3とのみからなる構成も含まれる。

【0121】

ここで、事業者（情報発信者）103が用意する第1のコミュニケーションカード2は、詳細構成は、図2に示すとおりであり、所定のURL24、25と、所定の文字、図形、記号などの標章22とが印刷されたシートの一部にコミュニケーション用隠蔽画像が描画された光学媒体23を設けられている。また、この第1のコミュニケーションカード2の光学媒体23以外の部分には、例えば、「ステップ1ー上記アドレスにアクセス、ステップ2ーホームページにアクセスする、ステップ3ーモニタにこのチャンスカードを当てると不思議なことに『当たり』と文字が浮きでてきます。」などと印刷されている。

【0122】

また、事業者（情報発信者）103側で使用する第1の情報処理システム3は、情報入力画像データが送出可能となっており、かつ、送出後の情報入力画像データに書き込まれた収集情報を受信したときに、前記光学媒体内の隠蔽画像を顕在化させる色調を発色させる映像出力データを送信するとともに、前記取り込んだ収集情報を所定の手法で分類することができるようになっている。なお、既に説明したが、上記第1の情報処理システム3は、事業者（情報発信者）103の所有でも他の者の所有でも構わず、要は、前記第1の情報処理システム3に上述した機能が備わっていて、この機能を事業者（情報発信者）103が使用できるようになっていればよい。

【0123】

また、ユーザー側が使用するユーザー端末装置51は、各種情報を入力するための情報入力手段、情報入力画像データやその他の表示データを表示する表示手段及び各種制御や情報を処理する処理手段を備えている必要がある。このユーザー端末装置51も、ユーザー自身の所有でも他の者の所有でも構わず、要は、上記機能をユーザーが使用できればよい。

【0124】

このようなコミュニケーションカードシステムの動作を説明する。まず、事業者（情報発信者）103は、自己が展開する店舗103a、…で第1のコミュニケーションカード2をユーザーに配布し（ステップ901）、雑誌に封入してユ

ユーザーに配布し（ステップ902）、あるいは、商品へ同封してユーザーに配布する（ステップ903）。なお、この第1のコミュニケーションカード2の配布は、前3項目だけではなく、例えば、カタログに添付したり、ダイレクトメールで送付したり、伝票に添付したりするなどの任意の手段で配布してもよい。

【0125】

ユーザーは、ユーザー端末装置51のブラウザを起動し、当該配布された第1のコミュニケーションカード2に記載されたURL24、25をユーザー端末装置51のブラウザに入力する。これにより、前記ユーザー端末装置51は、前記第1の情報処理システム3にアクセスし（ステップ904）、所定の情報入力画面データを前記第1の情報処理システム3から当該ユーザー端末装置51に取込んでディスプレイに表示させる（ステップ905）。これにより、ユーザー端末装置51のディスプレイには、図11に示すように、情報入力画像110が表示される。

【0126】

ユーザーは、入力手段（図示せず）を介してディスプレイ上に表示されている当該情報入力画面に所定の情報を入力し、必要な項目が入力されたところで、情報入力画面の送信ボタンを押すと、当該収集情報は前記ユーザー端末装置51から第1の情報処理システム3に送出される。なお、この第1の発明の実施の形態において、情報入力画面に対する入力とは、単純に情報を収集するのみだけの意味ではなく、当該情報入力画面に何らかの操作をすることをいい、例えばアンケートの入力、個人データの取得、メールアドレスの取得、クイズの回答、あるいはゲームの操作、商品告知に対するポインター操作など、要は当該情報入力画面に対して何らかの入力操作を行えばよく、以下同じ意味で使用する。

【0127】

前記第1の情報処理システム3では、前記収集情報を受信すると、映像出力データを送出する（ステップ906）。

【0128】

これにより、前記ユーザー端末装置51のディスプレイには、図11に示すように、前記映像出力データに基づいた色調の画像111をディスプレイ上に発色

させる。

【0129】

ユーザーは、前記第1のコミュニケーションカード2をディスプレイ上に表示されている画像111に当てる（ステップ907）。これにより、ユーザーは、第1のコミュニケーションカード2の光学媒体23内の隠蔽画像が目視にて認識可能な状態になる（図11の画面112）。この実施の形態では、第1のコミュニケーションカード2の光学媒体23内の隠蔽画面が「大当たり、オメデトウ」と顕在化した状態を示している。

【0130】

また、前記第1の情報処理システム3では、当該収集情報を所定の手法で分類整理し、データベースに構築する。また、抽選に当たった場合などには、当該データベースを基に、当該ユーザーにもっとも相応しい景品やサービスなどを提供することができるようにするためのデータを抽出し、事業者（情報発信者）103に提供する。このデータにより、事業者（情報発信者）103は、当該景品やサービスを用意し、ユーザーに提供できる。

【0131】

このように本第1の発明の実施の形態によれば、ユーザーに対して第1のコミュニケーションカード2というコミュニケーションツールにより、ユーザー側には、所定の特典が与えられる他（図11符号800）、いろいろなアドバイスやメッセージを受けることができ（図11符号801）、かつ、サイトの積極的活用や購入を促すことができるとともに（符号802）、事業者（情報発信者）103に対しては、ユーザーに関するデータベースを構築できるほか（図11の符号810）、抽選等の当たったときにでも、ユーザーの好みや個人情報から当該ユーザーにもっとも相応しい景品やサービスなどを提供することができ、これらを通じてユーザー獲得の増加や利用率の増加を図ることができ（図11の符号811）、かつ、データベースを基に顧客に再アプローチができる（図11の符号812）。また、リアルとの融合が図れる（図11の符号813）。

【0132】

本第1の発明の実施の形態を使用することにより、事業者にとっては顧客の再

来店を促すことができ（図11の符号821）、データベースをもっているの
、顧客に適正なプレゼントを提供したり（図11の符号822）、ディスカウ
ントをすることができ（図11の符号823）、これらを通じて商談を成約させる
ことができる（図11の符号824）。

【0133】

この第1の発明の実施の形態では、物品販売の例で説明したが、これに限定さ
れることなく、例えばアンケート調査、市場調査に用いることができることはも
ちろん、使い方によって会員獲得などの分野でも適用できることはいうまでもな
い。

〔第2の発明〕

図12は、本第2の発明の実施の形態に係るコミュニケーションカードシステ
ムを示す図である。ここで、第2の発明とは、既に説明したが、ユーザー端末装
置で受信した主映像データを前記ディスプレイに表示すると同時に隠蔽映像デー
タを目視不能状態で前記ディスプレイに表示し、前記ディスプレイ上に表示され
ている隠蔽画像を前記第2のコミュニケーションカードで目視にて認識可能な状
態にし、ユーザーに第2のコミュニケーションを介して所定の情報を提供するよ
うにしたシステムのことをいう。なお、第1の発明の基礎、第1の発明及び第2
の発明の基礎と同一構成要素には、基本的に同一の符号を付して説明する。

【0134】

本第2の発明の実施の形態に係るコミュニケーションカードシステム201は
、図12に示すように、事業者（情報発信者）103側が、標章（具体的には、
同一番号のないラッキーナンバー22や、URL24、25や、カードの名称や
、カードの説明など）を印刷した第2のコミュニケーションカード2aと、第2
の情報処理システム3aとを備え、また、ユーザー側ではユーザー端末装置51
aを備えることにより、構成されることになる。なお、コミュニケーションカー
ドシステム201というときは、事業者（情報発信者）103側において、標章
（具体的には、同一番号のないラッキーナンバー22や、URL24、25や、
カードの名称や、カードの説明など）を印刷した第2のコミュニケーションカー
ド2aと、第2の情報処理システム3aとを備えているものも含む。

【0135】

ここに、事業者（情報発信者）103が用意した第2のコミュニケーションカード2aは、既に詳細に説明したが、所定の文字、図形、記号などの標章（例えばラッキーナンバー22aや、所定のURL24, 25）が印刷されたシートの一部に隠蔽画像を目視にて認識可能にする透過光学特性を有する光学媒体23aを設けている。また、第2のコミュニケーションカード2aには、他の標章として「当該カード2aに印刷されたURLに接続すると、ユーザー端末装置51のディスプレイに画像が現れて、それに当該カード2aを当てると絵や文字が現れ」旨の印刷もしておく。

【0136】

また、事業者（情報発信者）103が用意した前記第2の情報処理システム3aは、情報入力画像データが送出可能となっており、かつ、送出後の情報入力画像データに書き込まれた収集情報を受信したときに、表示用の主映像データ中に顧客に提示する隠蔽映像データを合成し、前記主映像データの画像のみを目視可能状態でかつ前記隠蔽映像データを目視不能状態で表示させる映像出力データを送信できるとともに、前記取り込んだ収集情報を所定の手法で分類することができる機能を有している。この第2の情報処理システム3aは、事業者（情報発信者）103が所有していても、あるいは、事業者（情報発信者）103が所有していなくても、その機能を使用できる状態であればよい。

【0137】

また、ユーザーが用意した映像表示認識システム5は、各種情報を入力するための情報入力手段（キーボード）と、情報入力画像データやその他の表示データを表示する表示手段（ディスプレイ）と、各種制御や情報を処理する処理手段とを備えたものである。この映像表示認識システム5は、ユーザー自身が所有しているものでも、あるいは、ユーザー自身が所有していなくとも他人の所有のものを使用できる状態であればよい。

【0138】

このようなコミュニケーションカードシステムを例えば会員向けに使用する場合について説明する。

【0139】

まず、事業者（情報発信者）103は、第2のコミュニケーションカード2aを多数用意する。

【0140】

ユーザーが事業者（情報発信者）103が設置する店舗103aやその他関連する店舗103aに行き、アンケートや入会申し込みをすると、事業者（情報発信者）103から登録会員カードとしての第2のコミュニケーションカード2aが送られてくる（ステップ911）。

【0141】

当該会員証としての第2のコミュニケーションカード2aには、「例えば、第2のコミュニケーションカード2aに記載されているURL24、25にアクセスし、ラッキーナンバーを入力すれば、素敵なプレゼントが当たります」などと印刷されているものとする。なお、前記第2のコミュニケーションカード2aのラッキーナンバー22aは、重複がないものとする。

【0142】

ユーザーは、ユーザー端末装置51aのブラウザを起動し、第2のコミュニケーションカード2aのURL24またはURL25をブラウザに入力し、所定の操作を行う。

【0143】

すると、ユーザー端末装置51aは、第2の情報処理システム3aに接続され、例えば「新商品案内」、「新キャンペーンの案内」、「新サービスの登録」などの情報と、情報入力画像データとを得ることができる（ステップ912）。

【0144】

また、ユーザー端末装置51aは、「新商品案内」、「新キャンペーンの案内」、「新サービスの登録」などの情報を音声や映像で流し、あるいは、情報入力画面121をディスプレイに表示する（ステップ913）。

【0145】

また、ユーザーは、情報入力画像121に例えばラッキーナンバー22aを入力し、送信ボタンを操作する。なお、この実施の形態では、ラッキーナンバー2

2 aを入力する例で説明するが、これに限定されるものではなく、第1の発明とおなじく各種の入力操作でもよい。

【0146】

この収集情報（ラッキーナンバー）は、ユーザー端末装置51 aから第2の情報処理システム3 aに送られる。

【0147】

前記第2の情報処理システム3 aは、収集情報（ラッキーナンバー）が送られてくると、抽選処理を実行して、その抽選結果を隠蔽映像データに形成し、主映像データに重複させてユーザー端末装置51 aに送信する。

【0148】

前記ユーザー端末装置51は、前記第2の情報処理システム3 aから送られてくる映像出力データを受信し、主映像データを前記ディスプレイに表示すると同時に隠蔽映像データを目視不能状態で前記ディスプレイに表示する（ステップ914）。これにより、前記ディスプレイには、図12に示すように、隠蔽映像データによる隠蔽画像122が表示されている。

【0149】

前記ユーザー端末装置51 aのディスプレイに表示されている隠蔽画像122に対して、第2のコミュニケーションカード2 aを当てる（ステップ915）。すると、隠蔽画面122が前記第2のコミュニケーションカード2 aによって顕在化し、図12に示すように、顕在画面123が得られる。この顕在画面123は、図12では、「大当たり、オメデトウ」と二段に表示された例として示されている。

【0150】

このように本第2の発明の実施の形態によれば、ユーザーに対して第2のコミュニケーションカード2 aというコミュニケーションツールにより、ユーザー側には、所定の特典が与えられる他（図12の符号800）、いろいろなアドバイスやメッセージを受けることができ（図12の符号801）、かつ、サイトの積極活用・購入を促したり・購入を促すことができるとともに（図12の符号802）、事業者（情報発信者）103に対しては、ユーザーに関するデータベース

を構築できるほか、抽選等のあたったときにでも、ユーザーの好みや個人情報から当該ユーザーにもっとも相応しい景品・サービスなどを提供でき、これらを通じてユーザー獲得の増加や利用率の増加を図ることができる（図12の符号811）、かつ、データベースを基に顧客に再アプローチができ（図12の符号812）。また、リアルとの融合が図れる（図12の符号813）。

【0151】

本第2の発明の実施の形態を使用することにより、事業者にとっては顧客の再来店を促すことができ（図12の符号821）、データベースをもっているので、顧客に適正なプレゼントを提供したり（図12の符号822）、ディスカウントをすることができ（図12の符号823）、これらを通じて商談を成約させることができる（図12の符号824）。

【0152】

また、このように本第2の発明の実施の形態に使用することにより、長期的なキャンペーンが可能であり、会員登録後も積極的にアクセスさせることができ、かつ、デマンドチェーンが確立し、相当数の会員のいるアクティブなサイトや他の事業者からの広告、協賛費の獲得が可能になる。

【0153】

この第2の発明の実施の形態では、会員証に関する例で説明したが、これに限定されることなく、例えばアンケート調査、市場調査に用いることができることはいうまでもない。

（第3の発明）

図13は、本第3の発明の実施の形態に係るコミュニケーションカードシステムを示す図である。ここで、第3の発明とは、第1のコミュニケーションカードと、第2のコミュニケーションカードとを混在して使用し、かつ、ユーザー端末装置のディスプレイに対して、第1のコミュニケーションカードの使用のときには所定の色調で発色させ、第2のコミュニケーションカードのときには隠蔽画像を表示させることにより、第1のコミュニケーションカードの光学媒体内の隠蔽画像を目視にて認識可能な状態にし、あるいは、ディスプレイに表示されている隠蔽画像を第2のコミュニケーションカードの光学媒体で目視にて認識可能な状

態にし、顧客に対して第1のコミュニケーション光学媒体内にある所定の情報あるいはディスプレイ上に表示された隠蔽画像内にある所定の情報を提供できるようにしたシステムのことをいう。なお、第1の発明の基礎、第1の発明、第2の発明の基礎及び第2の発明と同一構成要素には、基本的に同一符号を付して説明する。

【0154】

本第3の発明の実施の形態に係るコミュニケーションカードシステム301は、図13に示すように、事業者（情報発信者）103側では、各種標章（例えば同一番号のないチェックビット番号（ラッキーナンバー）22や、URL24, 25や、カードの名称、カードの説明など）を印刷した第1のコミュニケーションカード2及び第2のコミュニケーションカード2aと、第3の情報処理システム3cとを備え、また、ユーザー側ではユーザー端末装置51を備えることにより構成されることになる。また、この第3の発明の実施例では、事業者（情報発信者）103側では、確認カード2cを備えるものとする。なお、コミュニケーションカードシステム301といったときには、事業者（情報発信者）103側において、各種標章（例えば同一番号のないチェックビット番号（ラッキーナンバー）22や、URL24, 25や、カードの名称、カードの説明など）を印刷した第1のコミュニケーションカード2及び第2のコミュニケーションカード2aと、第3の情報処理システム3cとを備えたものを含む。

【0155】

さらに説明すると、第1のコミュニケーションカード2及び第2のコミュニケーションカード2aは、既に説明しているので、説明を省略する。また、確認カード2cとは、第2のコミュニケーションカード2aの光学媒体23aの部分のみから構成されたものである。

【0156】

また、上記第3の情報処理システム3cは、情報入力画像データが送出可能となっており、かつ、送出後の情報入力画像に書き込まれた収集情報を受信したときに、前記光学媒体内の隠蔽画像を顕在化させる色調を発色させる映像出力データ、または、表示用の主映像データ中にコミュニケーションしようとする隠蔽映

像データを合成し、前記主映像データの画像のみを目視可能状態でかつ前記隠蔽映像データを目視不能状態で表示させる映像出力データを送信するとともに、前記取り込んだ収集情報を所定の手法で分類することができる機能を備えている。

【0157】

また、ユーザ端末装置51は、各種情報を入力するための情報入力手段（キーボード）、情報入力画像データやその他の表示データを表示する表示手段（ディスプレイ）及び各種制御や情報を処理する処理手段を備えている。ここでは、ユーザ端末装置51としてカラーディスプレイを備えた携帯電話機を使用するものとする。

【0158】

このようなコミュニケーションカードシステム301の動作について以下に説明する。このコミュニケーションカードシステム301を宅配サービスに適用した例で説明する。

【0159】

まず、事業者（情報発信者）103は宅配サービスの経営をしており、最初の注文を受けると、注文品をユーザに届けるとともに、注文品と一緒に第1のコミュニケーションカード2を配布する（ステップ931）。

【0160】

ユーザは、第1のコミュニケーションカード2に記載されているURL24, 25を基にユーザ端末装置（携帯電話機）51を事業者（情報発信者）103の第3の情報処理システム3cにアクセスし、所定の入力画面データを前記第3の情報処理システム3cから当該ユーザ端末装置（携帯電話機）51に取込んでディスプレイ上に表示させ、キーボードから当該情報入力画面に所定の情報を入力する。当該収集情報は前記第3の情報処理システム3cに送られる。前記第3の情報処理システム3cは、収集情報を受信すると、所定の色調を発色させる影像データをユーザ端末装置（携帯電話機）51に送信する。

【0161】

前記ユーザ端末装置（携帯電話機）51は、前記第3の情報発信処理装置からの映像出力データに基づいた色調をディスプレイ上に発色させる。ユーザは、

前記第1のコミュニケーションカード2をディスプレイ上に接触させることにより第1のコミュニケーションカード2の光学媒体23内の隠蔽画像を目視にて認識する。ここでは、当該光学媒体23内の隠蔽画像は、「500円割引します」と表示されていたものとする。

【0162】

ユーザーは、宅配の2回目の電話注文をする（ステップ932）。宅配業者である事業者（情報発信者）103は、配達員に確認カード2cを持たせ、宅配にゆく（ステップ933）。配達員は、注文品をユーザーに渡すとともに、第1のコミュニケーションカード2を確認カード2cで確認する（ステップ933）。配達員は、確認カード2cで確かに「500円割引します」という表示を確認すると、500円引きした代金を受け取る。このときに、第1のコミュニケーションカード2を受取り、それに代えてオリジナル会員カードとして第2のコミュニケーションカード2aを渡す（ステップ933）。

【0163】

ユーザーは、ユーザ端末装置（携帯電話機）51で3回目の電話注文をする（ステップ934）。このときに、オリジナル会員カードである第2のコミュニケーションカード2aのラッキーナンバーやその他必要なデータを入力する。この入力した情報を第3の情報処理システム3cに送ると、ユーザ端末装置（携帯電話機）51のディスプレイには、隠蔽画面が表示される。

【0164】

ユーザーは、第2のコミュニケーションカード2aでユーザ端末装置（携帯電話機）51のディスプレイ上に表示されている隠蔽画面を確認する。すると、隠蔽画面には、例えば「700円割引します」と表示されているものとする。

【0165】

宅配業者である事業者（情報発信者）103は、配達員に確認カード2cを持たせ、注文品を届ける。このときに、ユーザ端末装置（携帯電話機）51のディスプレイに隠蔽画面を表示してもらう。宅配業者の配達員は、ディスプレイ上の隠蔽画面を確認カード2cで確認し、確かに「700円割引します」と表示されていることを確認し、700円割り引いた代金を徴収する。

【0166】

第4回の注文も第3回の注文のときと同じように処理をする。

【0167】

なお、この第3の発明の実施の形態に係るコミュニケーションカードシステム301では、第3の情報処理システム3cが、次のような処理も実行している。すなわち、第3の情報処理システム3cは、会員登録、新商品の告知、新サービスの告知、その他の告知や、アンケートの実施やそのアンケートの結果を所定の分類方法で分類することや、ゲームの提供や、当たり外れの抽選処理を実行している。図では、第3の情報処理システム3cはサーバーとして表示されていて、その処理内容などが図右上に記載されている。

(第3の発明の変形例)

図14は、本第3の発明の変形例に係るコミュニケーションカードシステムを示す図である。

【0168】

この第3の発明の変形例に係るコミュニケーションカードシステム401が、第3の発明の実施の形態に係るコミュニケーションカードシステム301と異なるところは、第3の情報処理システム3cから送信する隠蔽画面データに加えて、顕在画面である確認終了ボタン及び引換完了ボタンの表示データを作成し、ユーザ端末装置（携帯電話機）51に送信し、かつ、ユーザ端末装置51と第3の情報処理システム3cとの間で、確認終了ボタン及び引換完了ボタンが選択され押されたことを通信できるようにした点に特徴があり、他の構成は第3の発明の実施の形態と同一である。

【0169】

すなわち、3回目の注文のときに、ユーザ端末装置（携帯電話）51から注文をし、その他必要な情報（例えばラッキーナンバー）などを入力すると、第3の情報処理システム3cでは、抽選処理を実行し、その結果を隠蔽画面にしてユーザ端末装置（携帯電話）51に送ってくる。

【0170】

すると、ユーザ端末装置（携帯電話）51のディスプレイ上には、隠蔽画面5

5と、確認終了ボタン56と、注意文57と、引換え完了ボタン58とが表示されている。

【0171】

宅配業者である事業者（情報発信者）103の配達員は、ユーザ端末装置（携帯電話）51のディスプレイ上に表示されている隠蔽画面を確認カード2cで当てるなどして確認すると、キーボードを操作して確認ボタン56を押下する。そして、当たった景品あるいは値引きをしたときに、キーボードを操作して引換え完了ボタン58を押下する。これらの情報は、ユーザ端末装置（携帯電話）51から第3の情報処理システム3cに送られる。これにより、第3の情報処理システム3cでは、ラッキーナンバーを手がかりに、当たったユーザーに対するサービスの確認や完了をすることができ、二重三重にサービスをすることがなくなり、かつ、ユーザーも確実にサービスを受けることができる。

【0172】

以上説明したように本第3の発明の実施の形態の変形に係るコミュニケーションカードシステム401によれば、第3の情報処理システム3cでは、ラッキーナンバーを手がかりに、当たったユーザーに対するサービスの確認や完了をすることができ、宅配業者側では二重三重にサービスをすることがなくなり、また、ユーザー側でも確実にサービスを受けることができる利点がある。

【0173】

【発明の効果】

以上説明したように、請求項1及び2記載の発明によれば、ユーザーに対して第1のコミュニケーションというコミュニケーションツールにより、ユーザー側には、所定の特典が与えられる他、いろいろなアドバイスを受けることができ、かつ、サイトの積極活用・購入を促すことができるとともに、事業者（情報発信者）に対しては、ユーザーに関するデータベースを構築できるほか、抽選等の当たったときにでも、ユーザーの好みや個人情報から当該ユーザーにもっとも相応しい景品・サービスなどを提供でき、これらを通じてユーザー獲得の増加を図ることができる。

【0174】

請求項3及び4記載の発明によれば、ユーザーに対して第2のコミュニケーションカードというコミュニケーションツールにより、ユーザー側には、所定の特典が与えられる他、いろいろなアドバイスを受けることができ、かつ、サイトの積極活用・購入を促すことができるとともに、事業者（情報発信者）に対しては、ユーザーに関するデータベースを構築できるほか、抽選等のあたったときにも、ユーザーの好みや個人情報から当該ユーザーにもっとも相応しい景品・サービスなどを提供でき、これらを通じてユーザー獲得の増加を図ることができる。

【0175】

請求項5及び6記載の発明によれば、請求項1ないし4記載の発明の効果に加えて、第3の情報処理システムでは、ラッキーナンバーを手がかりに、当たったユーザーに対するサービスの確認や完了をすることができ、事業者側では二重三重にサービスをすることがなくなり、また、ユーザー側でも確実にサービスを受けることができる利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の第1の実施の形態に係るネットコミュニケーションシステムを示すブロック図である。

【図2】

本発明の第1の実施の形態に係るネットコミュニケーションシステムで使用するコミュニケーションカードの構成を示す平面図である。

【図3】

本発明の第2の実施の形態に係るネットコミュニケーションシステムを示すブロック図である。

【図4】

本発明の第2の実施の形態に係るネットコミュニケーションシステムで使用するピースの構成を示す平面図である。

【図5】

本発明の第2の実施の形態に係る隠蔽映像発信システムが発信する合成映像データを映像表示認識システムの表示装置によって表示した合成画像の例を示す説

明図である。

【図 6】

本発明の第 2 の実施の形態に係る隠蔽映像発信システムが発信する合成映像データを映像表示認識システムの表示装置によって表示した合成画像の中に隠蔽画面が顕在化した状態を示す説明図である。

【図 7】

本発明の第 3 の実施の形態に係るネットコミュニケーションシステムを示すブロック図である。

【図 8】

本発明の第 3 の実施の形態に係るネットコミュニケーションシステムで使用するピースの構成を示す平面図である。

【図 9】

本発明の第 3 の実施の形態に係る隠蔽映像発信システムが発信する合成映像データを映像表示認識システムの表示装置によって表示した合成画像の例を拡大して示す説明図である。

【図 10】

本発明の第 3 の実施の形態に係る隠蔽映像発信システムが発信する合成映像データを映像表示認識システムの表示装置によって表示した合成画像の中に隠蔽画面が顕在化した状態を拡大して示す説明図である。

【図 11】

本第 1 の発明の実施の形態に係るコミュニケーションカードシステムを示す図である。

【図 12】

本第 2 の発明の実施の形態に係るコミュニケーションカードシステムを示す図である。

【図 13】

本第 3 の発明の実施の形態に係るコミュニケーションカードシステムを示す図である。

【図 14】

本第3の発明の変形例に係るコミュニケーションカードシステムを示す図である。

【符号の説明】

1, 1 a, 1 b, 1 0 1, 2 0 1, 3 0 1, 4 0 1 コミュニケーションカードシステム

2, 2 a, 2 b コミュニケーションカード

3 第1の情報処理システム

3 a 第2の情報処理システム

3 c 第3の情報処理システム

4, 4 a, 4 b 通信系統

5, 5 a, 5 b 映像表示認識システム

2 1, 2 1 a, 2 1 b シート

2 2, 2 2 a, 2 2 b ラッキーナンバー (チェックビット番号)

2 3, 2 3 a, 2 3 b 光学媒体

2 4, 2 5 URL

2 9 孔

3 1, 3 1 a, 3 1 b 映像発信サーバー

3 2, 3 2 a, 3 2 b 情報設定手段

3 3, 3 3 a, 3 3 b 受信情報処理手段

5 1, , 5 1 a, 5 1 b ユーザー端末装置

5 5 隠蔽画面

5 6 確認終了ボタン

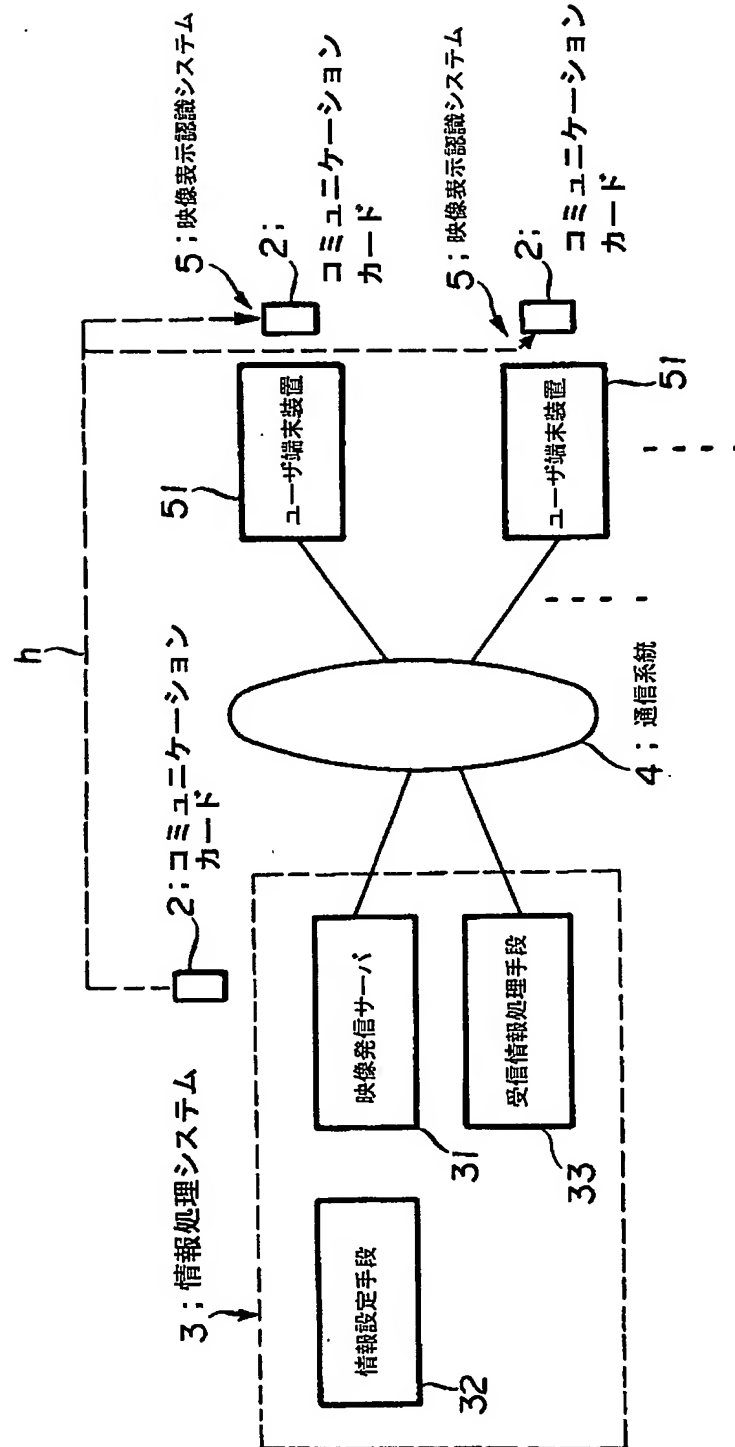
5 7 注意文

5 8 引換完了ボタン

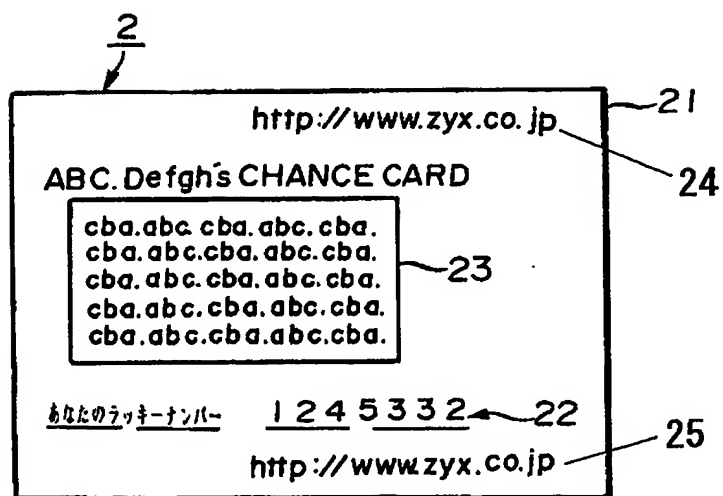
【書類名】

図面

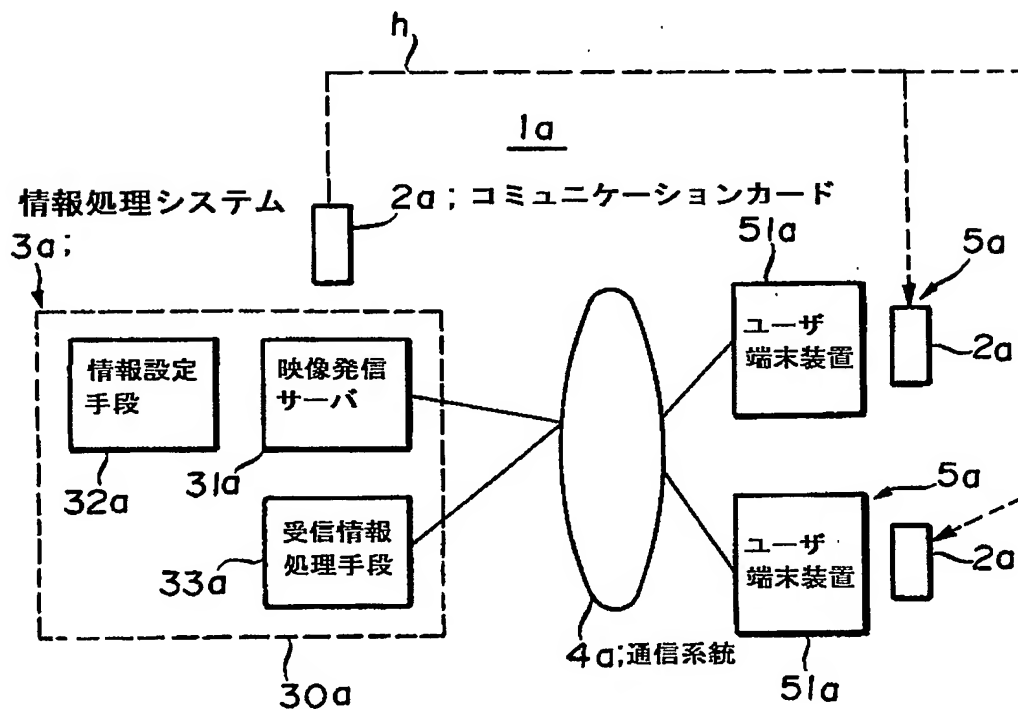
【図1】



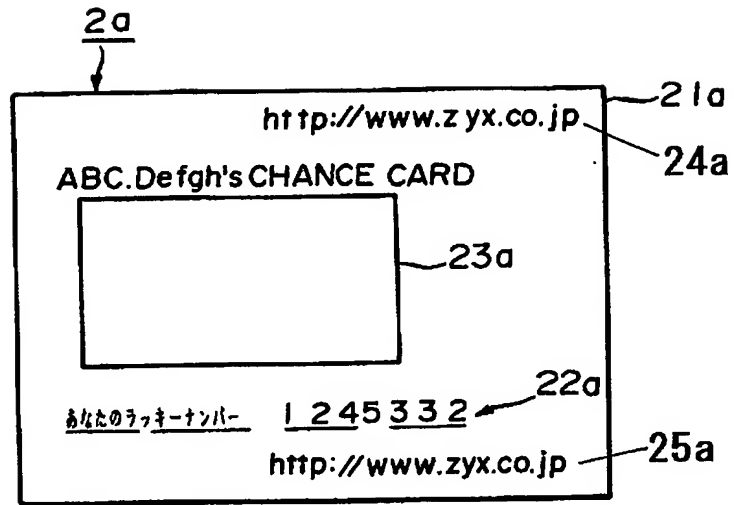
【図2】



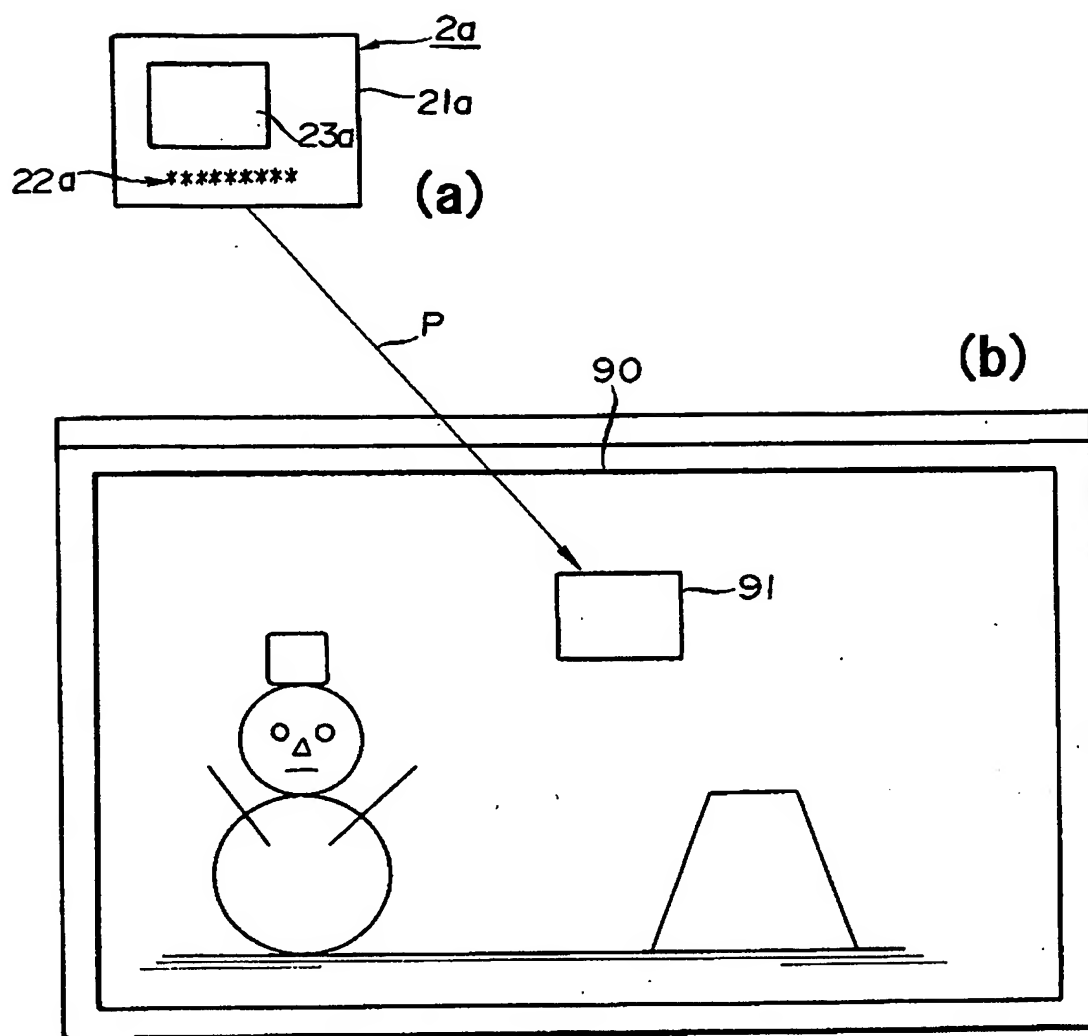
【図3】



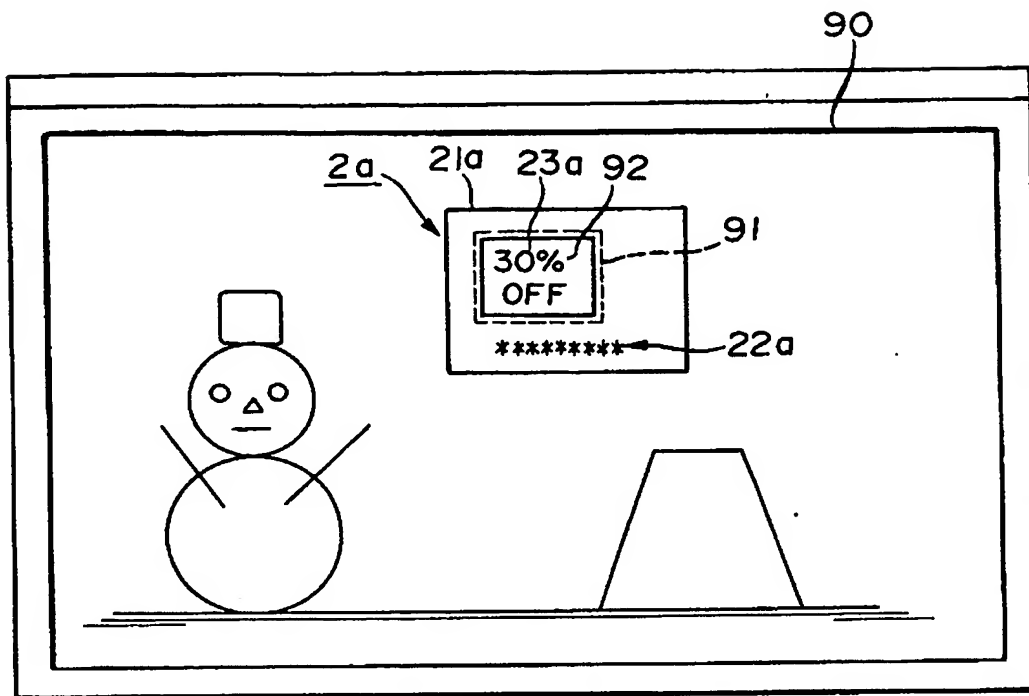
【図4】



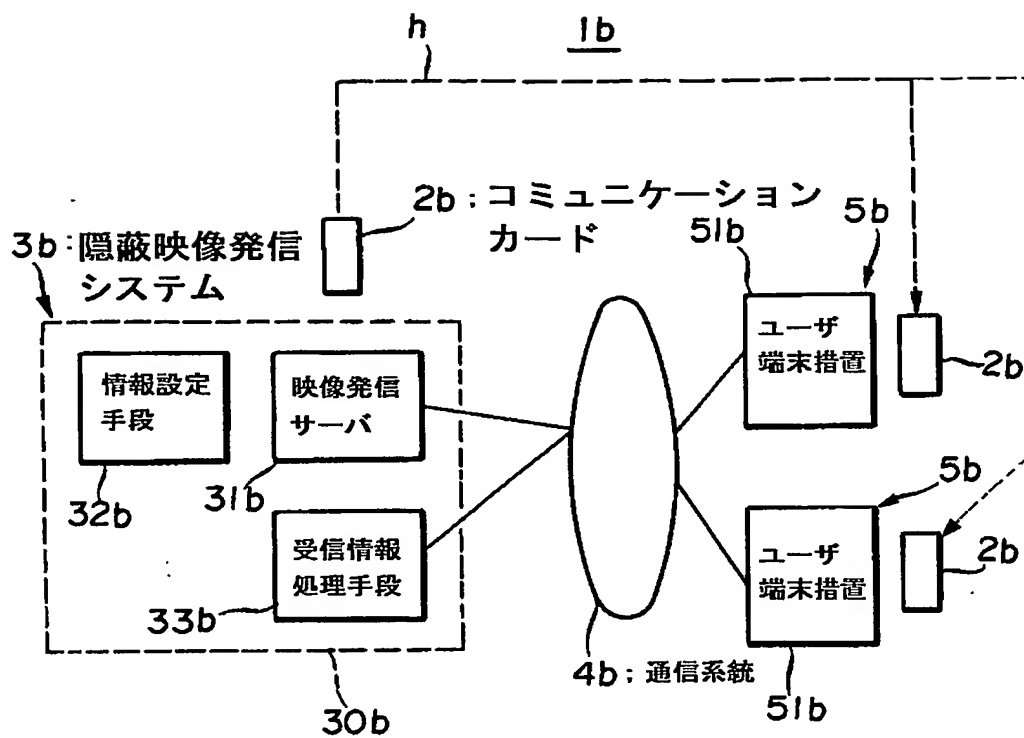
【図5】



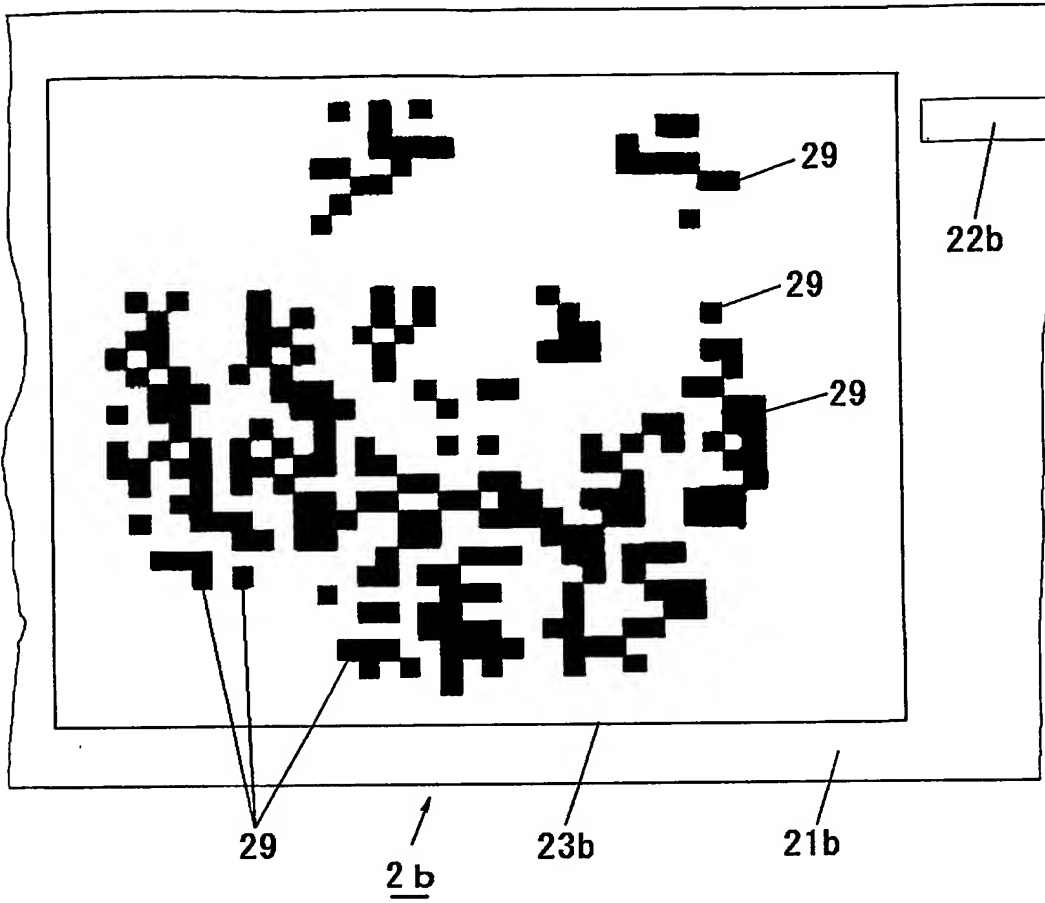
【図6】



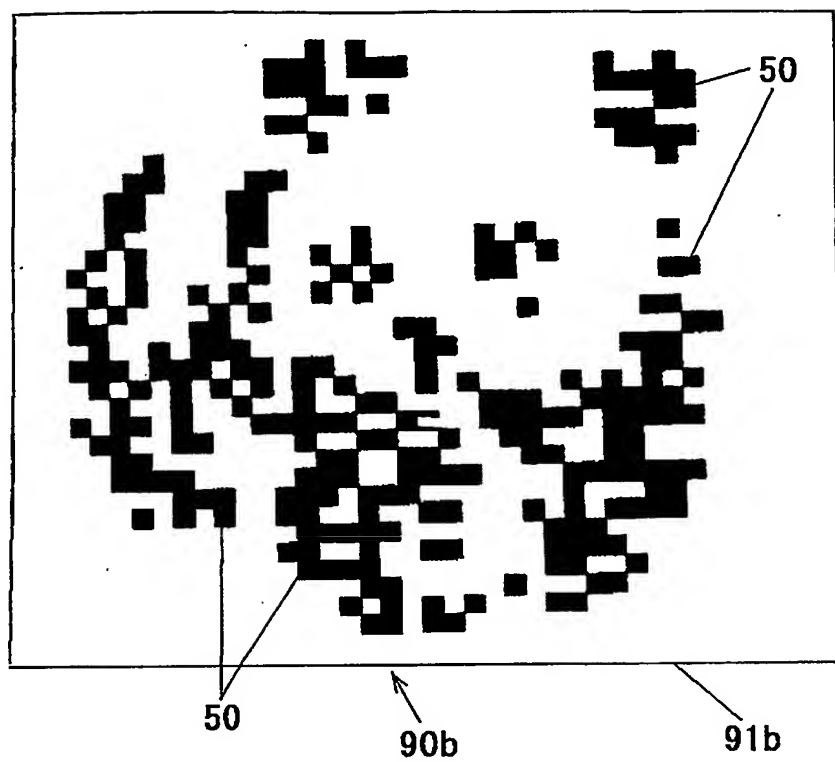
【図7】



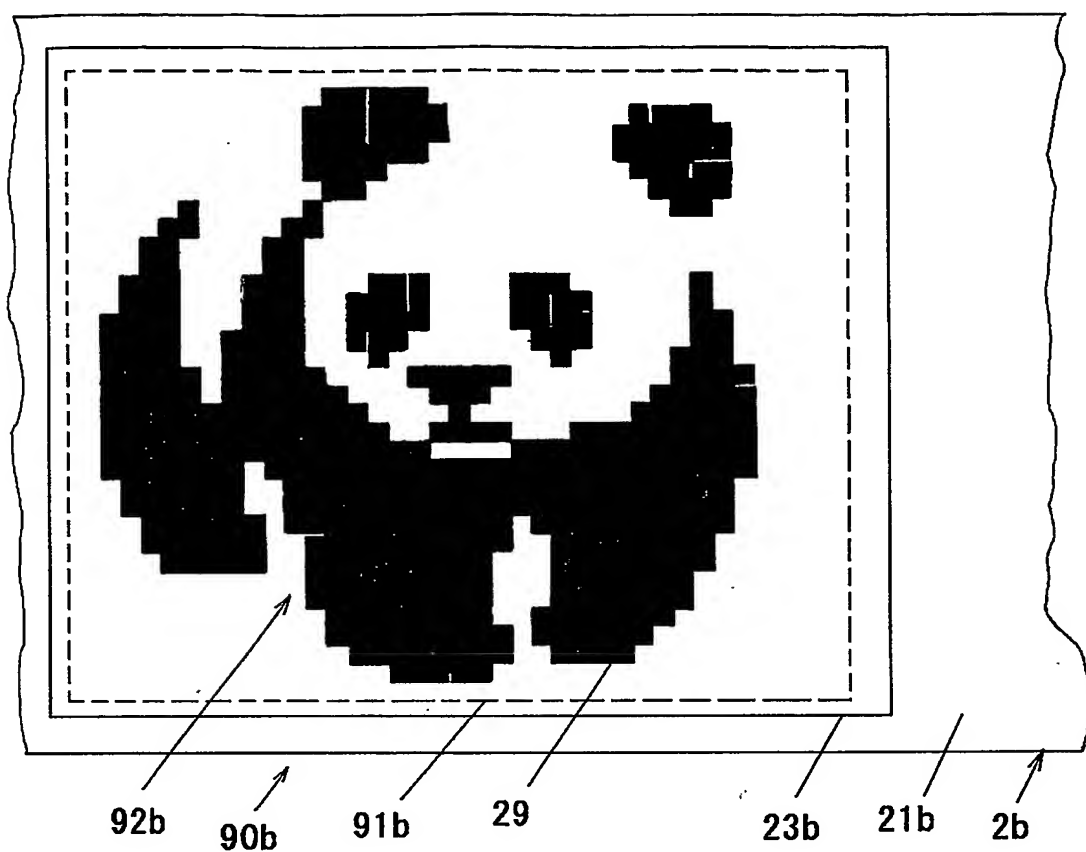
【図8】



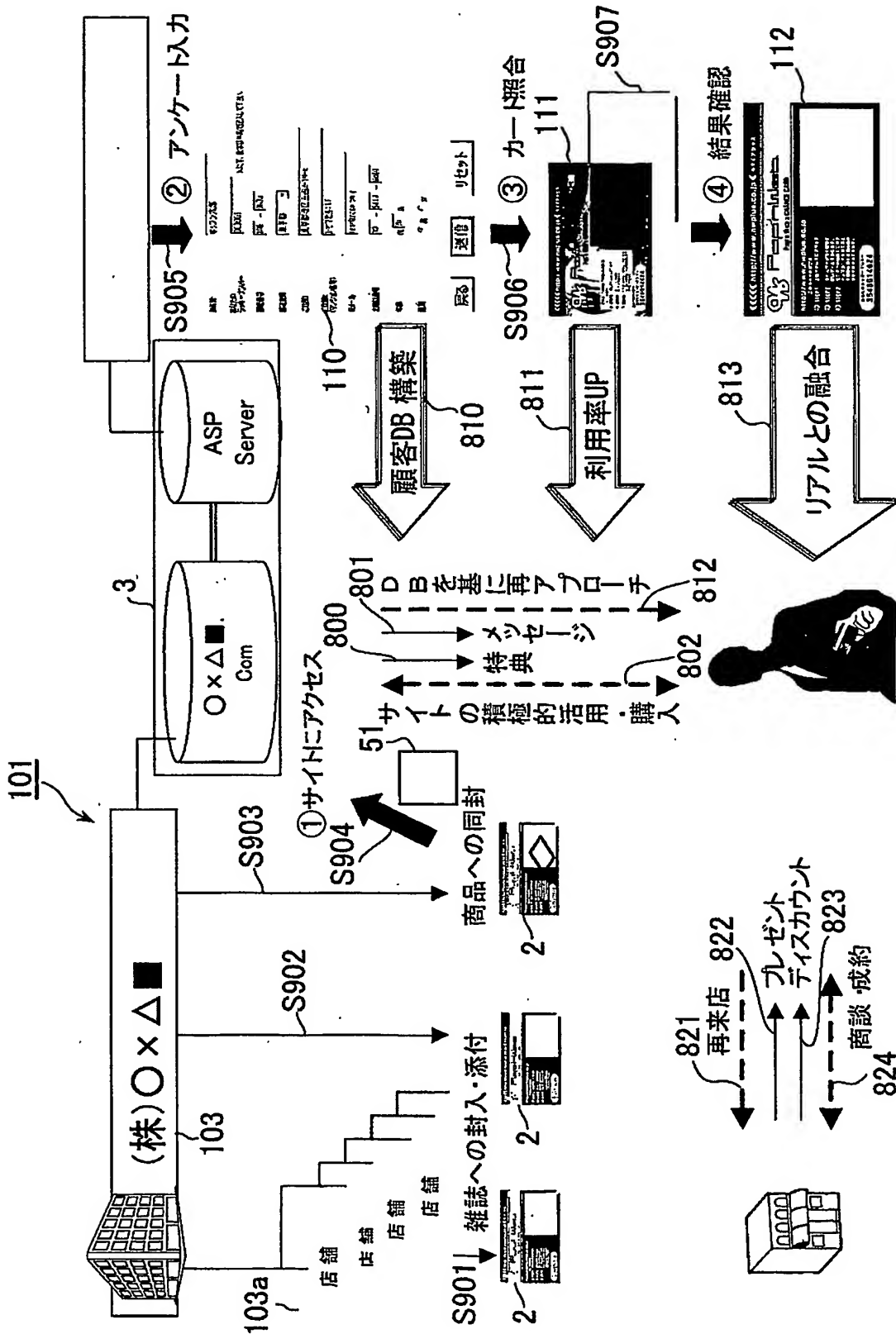
【図9】



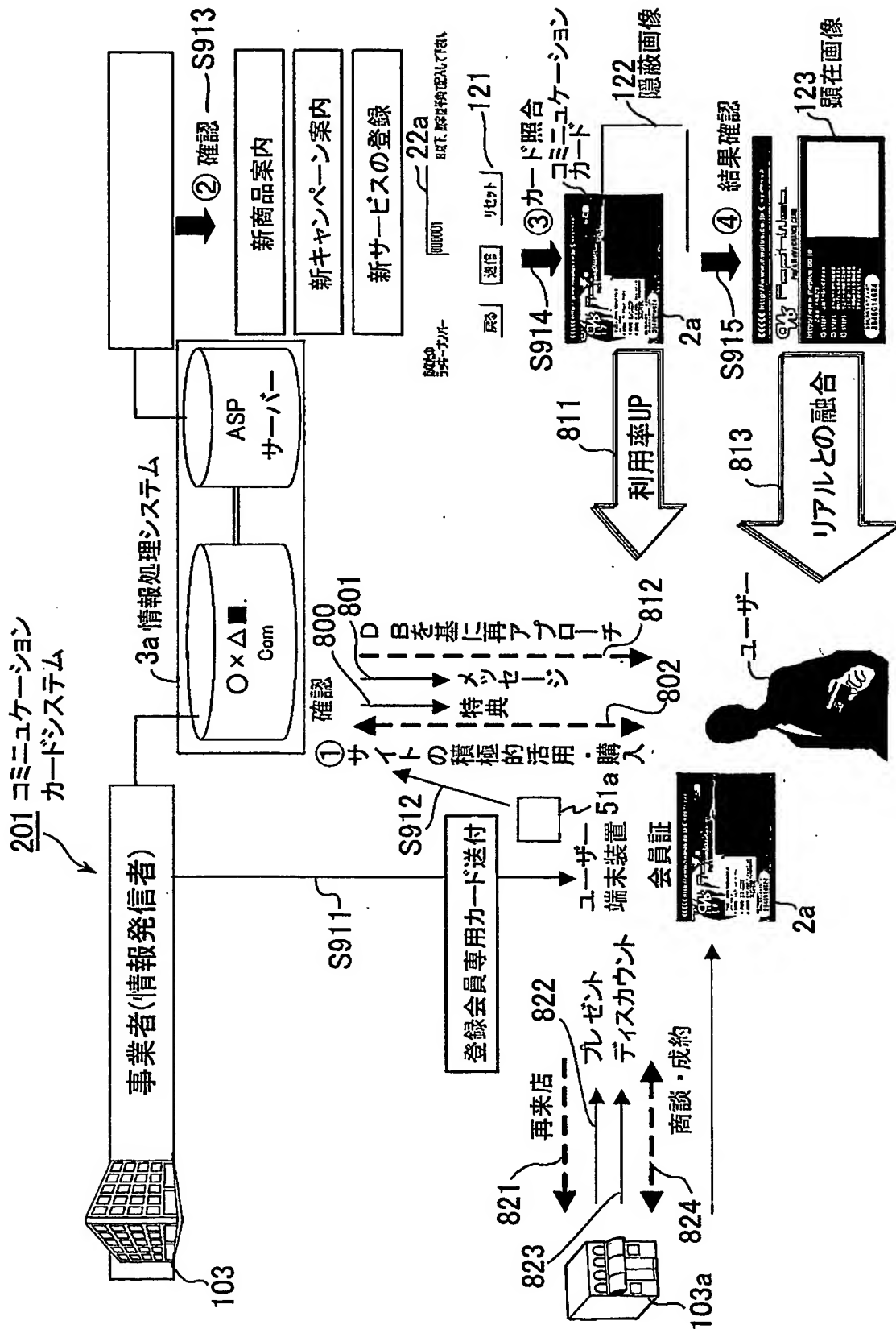
【図10】



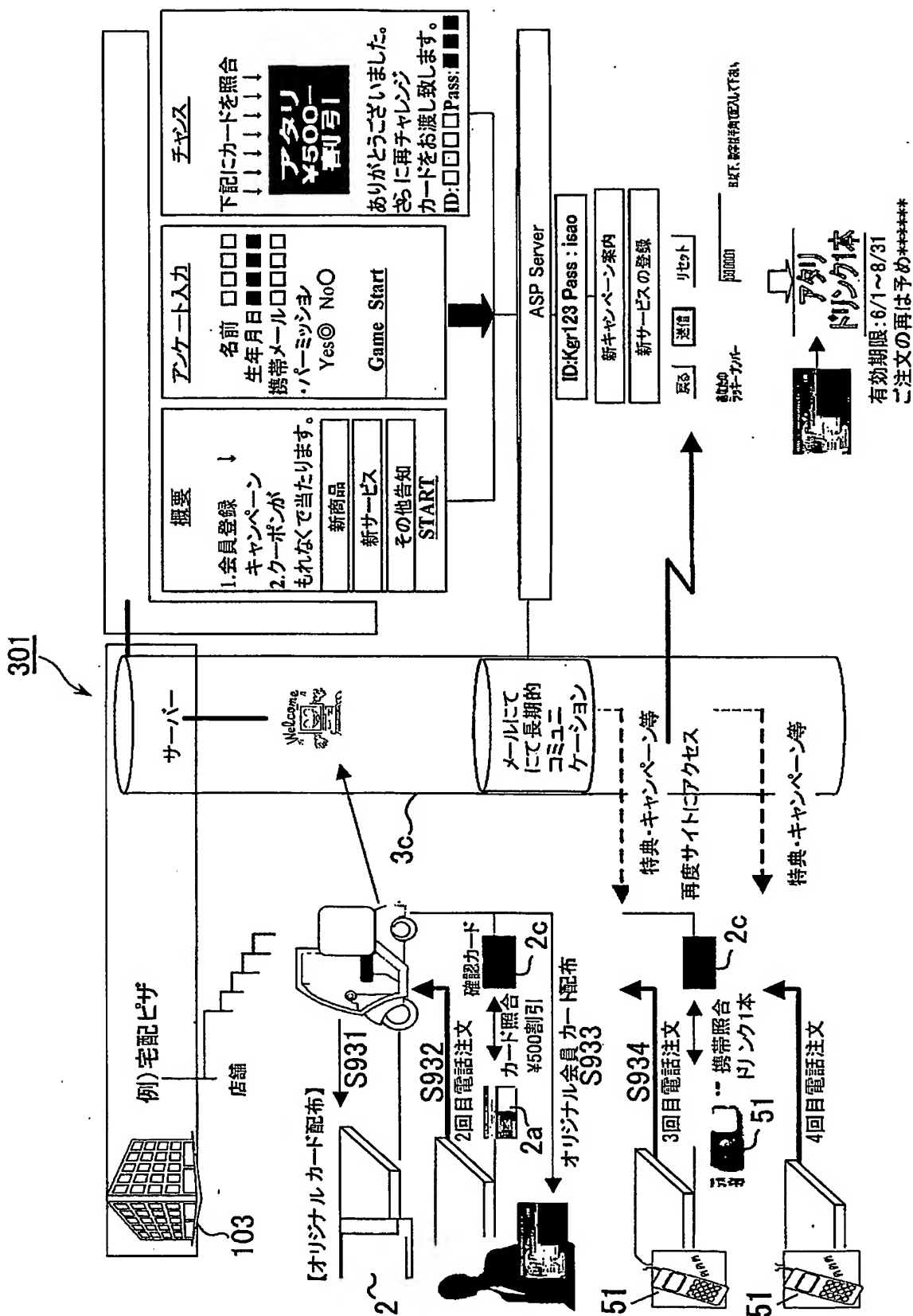
【図 11】



【図 12】



【图 13】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 隠蔽秘匿したい画像を効果的に認識可能にすることにより有効なコミュニケーションを可能にするコミュニケーションカードシステムの提供。

【解決手段】 コミュニケーションカードシステム101は、第2のコミュニケーションカード2aと、第2の情報処理システム3aと、ユーザ端末装置51とからなる。第2の情報処理システム3aは、表示用の主映像データ中にコミュニケーションしようとする隠蔽映像データを合成し合成映像データに形成して提供できる。映像表示認識システム5は、主映像データを表示すると同時に隠蔽映像データを目視不能状態で表示するユーザ端末装置51a及び端末装置51aに表示される隠蔽映像データによる隠蔽画像を目視で認識可能にする透過光学特性の光学媒体23aを備えた第2のコミュニケーションカード2aにより顕在化する。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [501195485]

1. 変更年月日 2002年 5月 8日
[変更理由] 住所変更
住 所 東京都港区三田二丁目10番6号
氏 名 株式会社ネットワークス・プラス

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.